

家庭用アルミ温室

ブルーリボン

ホワイト
ピカ 15

組立のしおり



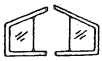
ピカ コーポレイション

この度は、家庭用アルミ温室 **プチカ15**

正しく早く組み立て、末長くご愛用いただくために。

- ①まず“組立のしおり”をよくお読み下さい。
- ②プラスドライバー2番とスパナ(＃10)をご用意下さい。
- ③このページの表にもとずいて、梱包をチェックして下さい。(「プチカ15」の本体は、梱包10TK、梱包--TC、梱包--TR、梱包15YT、梱包15YW、梱包15YF、梱包--D、梱包15S、梱包15APの9種類で13梱包です。)
- ④次に3～4頁の組立て順序Step1～完成までの大きな流れを確認して下さい。
- ⑤それでは5頁のStep1から順に沿って組立てて下さい。
- ⑥ブロック基礎仕様にされる場合は、32頁のアンカー寸法及び完成寸法図を参照して下さい。

梱包10TK 妻開口面(2梱包) 品名コード 63WP10TKVC

No.	名 称	形 状	寸 法	数 量	備 考
①	妻パネル(ドア付き正面側)		W1747×H2333	2	左右各1枚ずつです

梱包--TC 妻Fix中央面(1梱包) 品名コード 63WP--TCVA

②	妻パネル(裏面側)		W1747×H2333	1	左右各1枚ずつです
---	-----------	--	-------------	---	-----------

梱包--TR 妻ランマ(1梱包) 品名コード 63WP--TRVA

③	妻ランマ		W624×H469	2	
---	------	---	-----------	---	--

梱包15YT 天窓(1梱包) 品名コード 63WP15YTVC

④	屋根パネル(中央)		W836×H1136	1	左右両側にビード付、切り欠き付
⑤	天窓		W581×H1119	1	

梱包15YW 天窓のある屋根(1梱包) 品名コード 63WP15YWVC

⑥	屋根パネル(天窓側)左		W984×H1136	1	左側にビード付
⑦	屋根パネル(天窓側)右		W984×H1136	1	右側に "

梱包15YF 天窓のない屋根(1梱包) 品名コード 63WP15YFVC

⑧	屋根パネル(Fix側)左		W872×H1136	1	左側にビード付
⑨	屋根パネル(Fix側)右		W872×H1136	1	右側に "

梱包--D ドア(1梱包) 品名コード 63WP--D×VB

⑩	ドア		DW573×DH1672	1	寸法はドア障子の外寸法です
---	----	---	--------------	---	---------------

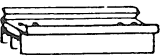
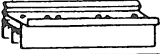
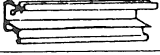
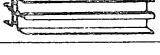
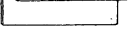
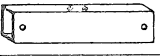
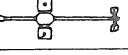
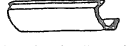
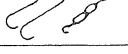
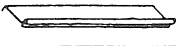
梱包15S 引戸障子(4梱包) 品名コード 63WP15S×VC

⑪	引戸障子		W1673×H1462	1	外、内障子各1枚ずつです
---	------	---	-------------	---	--------------

をお買いあげありがとうございます。

基本

梱包15AP 部材・部品 (1 梱包) 品名コード 63WP15APVE

No.	名 称	形 状	寸 法	数 量	備 考
⑬	うわ 上 わく 枠 (天窓側)		2520mm	1	○ ○ ○ ○ 穴位置が 異なります。
⑭	うわ わく 上 枠 (天窓のない側)		2520mm	1	
⑮	した 下 わく 枠		2520mm	2	グロメット(配線穴)取り付け済み
⑯	むな 棟 き 木		2520mm	1	
⑰	ひき 引 戸 ほう だて 方 立		1484mm	2	
⑱	てん まど 天窓 取付アングル		557mm	1	
⑲	てん まど 天窓 取付角パイプ		598mm	1	ネジ取り付け済み
⑳	てん まど 天窓 開閉装置			1	
㉑	むな 棟用コーナープレート		厚さ 4.5mm	2	
㉒	した わく れん けつ かな ぐ 下 枠 連 結 金 具 A (ドア付正面側)		厚さ 4.5mm	2	
㉓	ア ン カ ー ボ ル ト		M8×100	10	
㉔	ろっ かく 六 角 ナ ッ ト		M8	20	
㉕	かく 角 ざ 座 がね 金		M8	10	
㉖	むな ぎ はし 棟 木 端 カ バ ー			2	
㉗	ド ア ク ロ ー ザ ー			1	右開きドア仕様にセット済
㉘	天窓開閉補助部品		50mm	2	
㉙	ド ア ロ ッ ク			1	取り付け工具付
㉚	ブ レ ー ス セ ッ ト			4セット	筋カイ長短各1本, ターンバックル1個で1セットです
㉛	つ り ば ち よ う かな ぐ 吊 り 鉢 用 金 具		厚さ 3mm	3	
㉜	てん まど 天窓 はし ヒンジ端カバー			2	左右各1個ずつです 黒いゴム
㉝	組 立 ネ ジ セ ッ ト			1	明細は33頁です
㉞	てん まど 天窓 ヒ ン ジ		602mm	1	

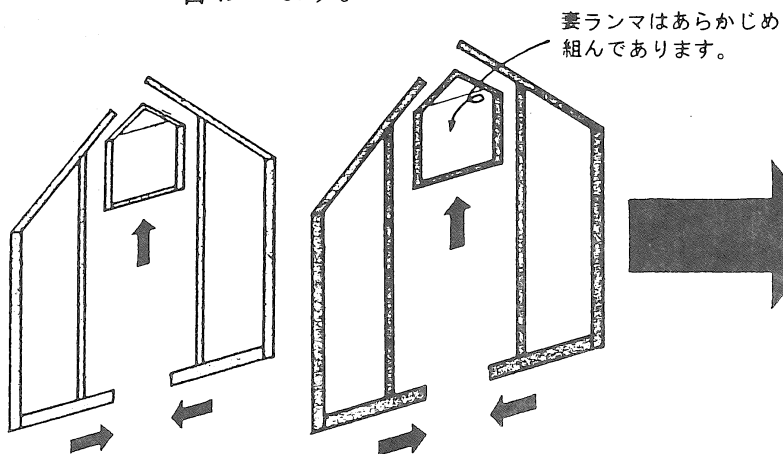
※出入口が引き戸仕様の場合、ドア梱包(63WP--D×VB)にかわって妻引き戸(63WP--TTHVA)と妻引き戸枠(63WP--HWVA)各1ケースになります。

STEP

組み立てには、プラスチック

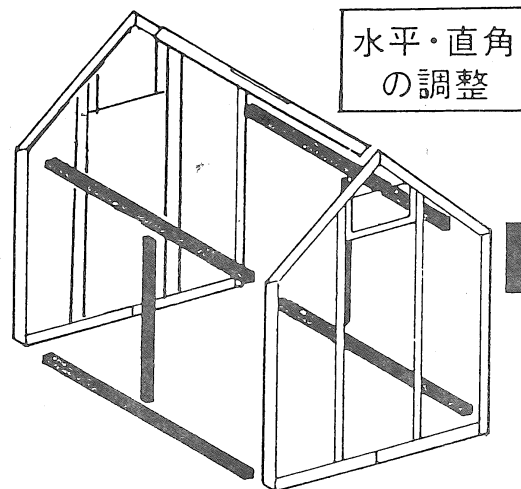
STEP1

あらかじめ工場で組み立ててある左右同し妻パネルを組み合わせます。



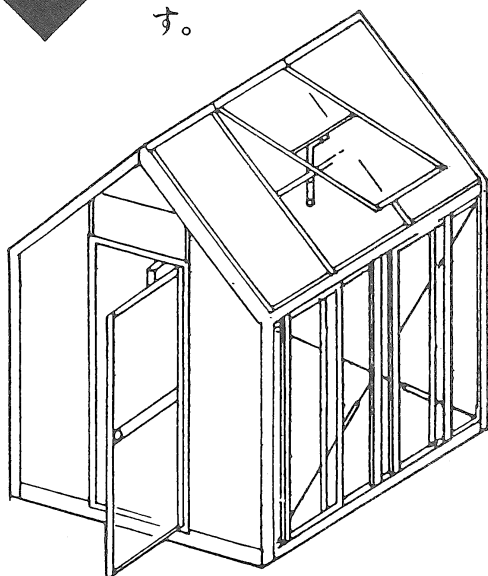
STEP2

枠部材を妻パネルに取り付けます。



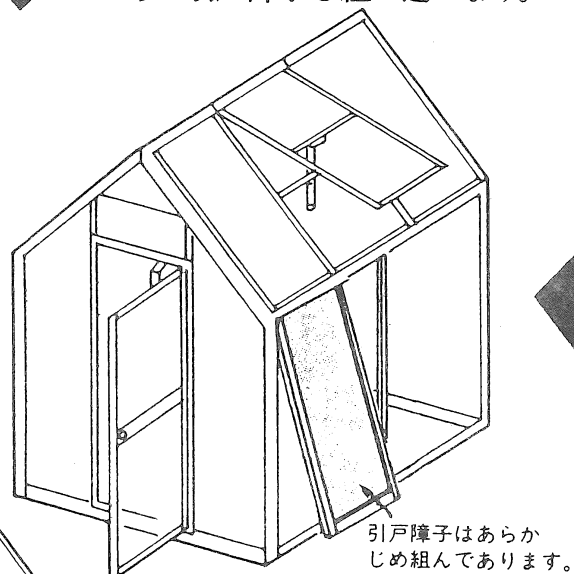
STEP8

ブレースセットを取り付けます。

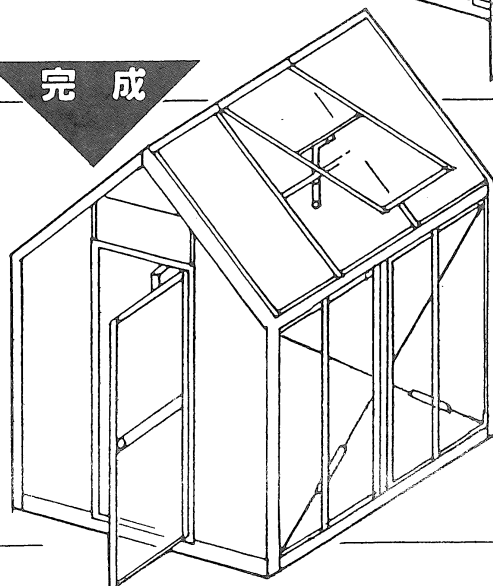


STEP7

あらかじめ工場で組み立ててある引戸障子を組み込みます。



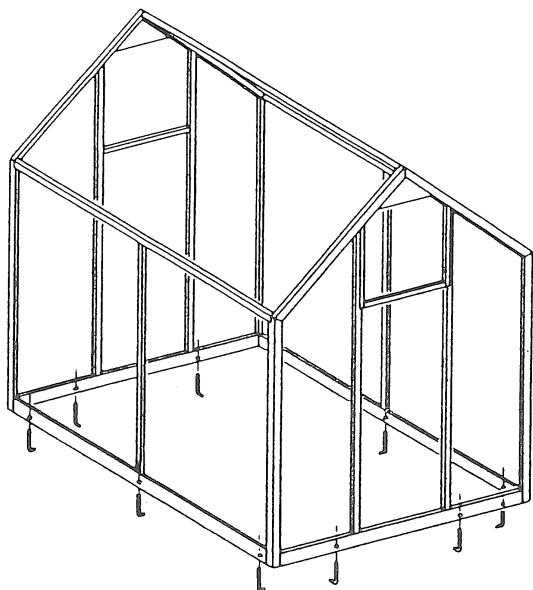
完成



ーとスパナ(#10)を各1本ご用意下さい。

STEP3

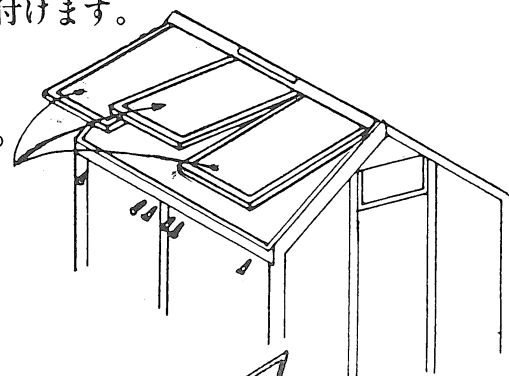
本体を地面に固定します。



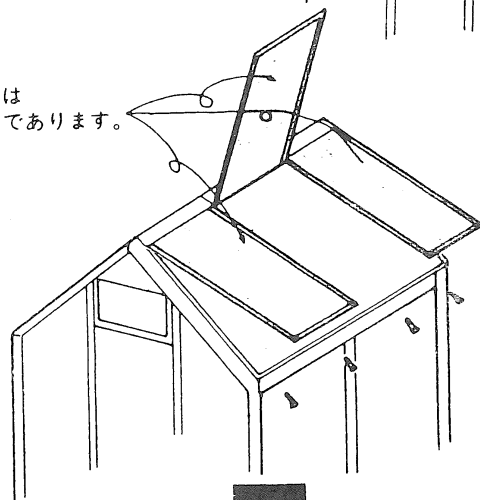
STEP4

あらかじめ工場で組み立ててある屋根パネル・天窗を取り付けます。

屋根パネルはあらかじめ組んであります。

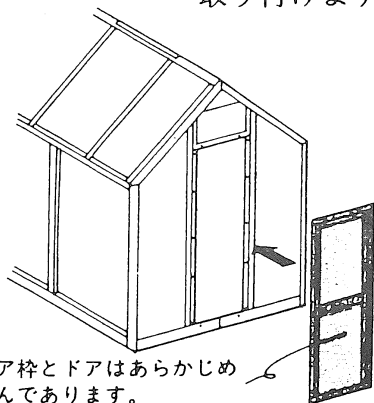


天窗屋根パネルはあらかじめ組んであります。

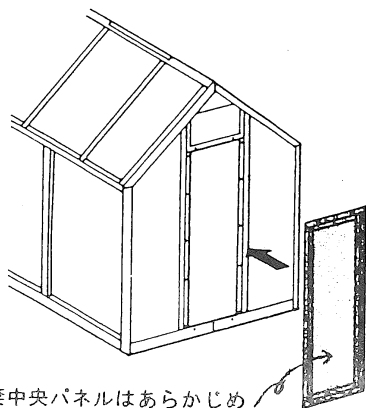


STEP6

あらかじめ工場で組み立ててあるドア枠と妻中央パネルを取り付けます。



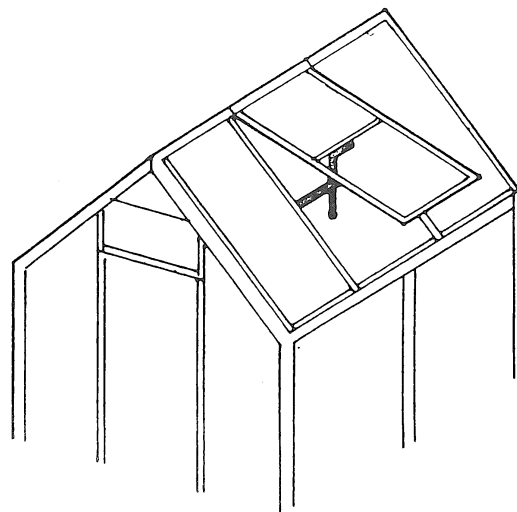
ドア枠とドアはあらかじめ組んであります。



妻中央パネルはあらかじめ組んであります。

STEP5

天窗開閉装置を取り付けます。

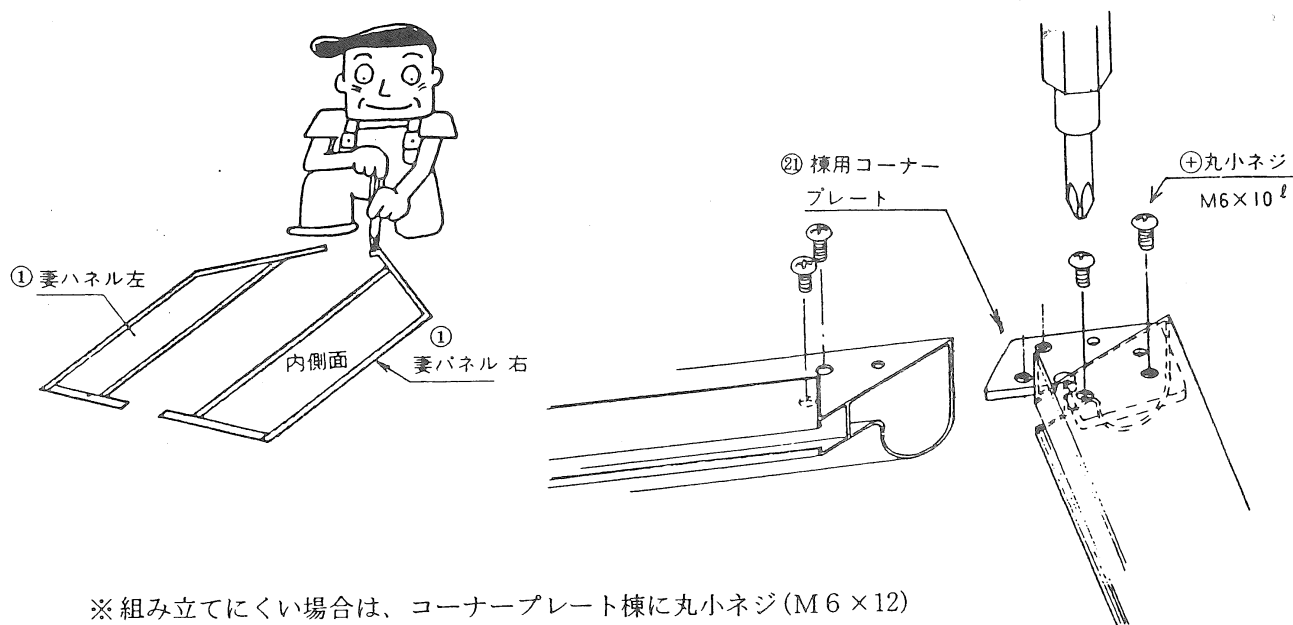


左右の妻^{つま}パネルを組み合

☆妻パネル(正面側・裏面側)を組み立てます。

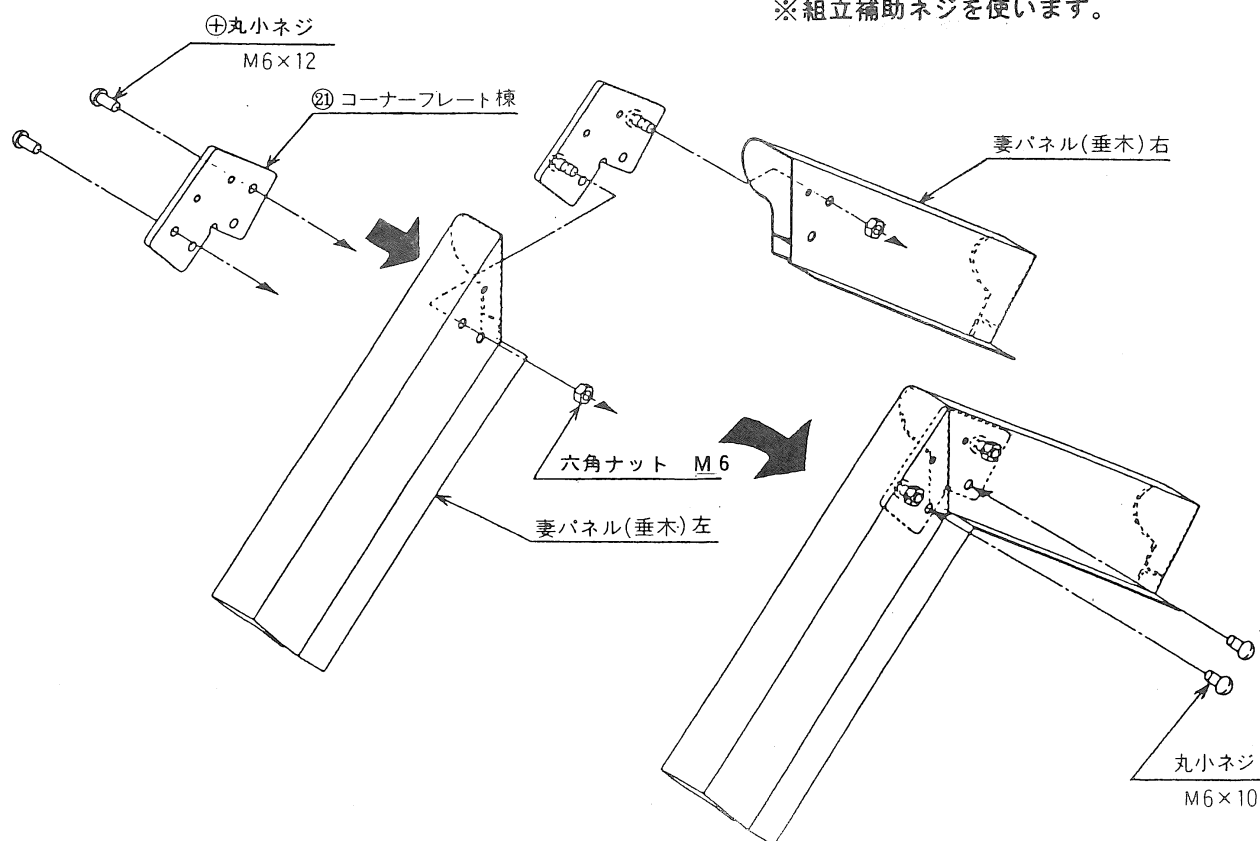
1

あらかじめ工場で組立ててある①の妻パネルを寝かした状態にして、②の棟用コーナープレート
を左右どちらかに丸ネジで仮止めて下さい。



※ 組み立てにくい場合は、コーナープレート棟に丸小ネジ (M6×12)
を2ヶ所取り付けから組み立てて下さい。

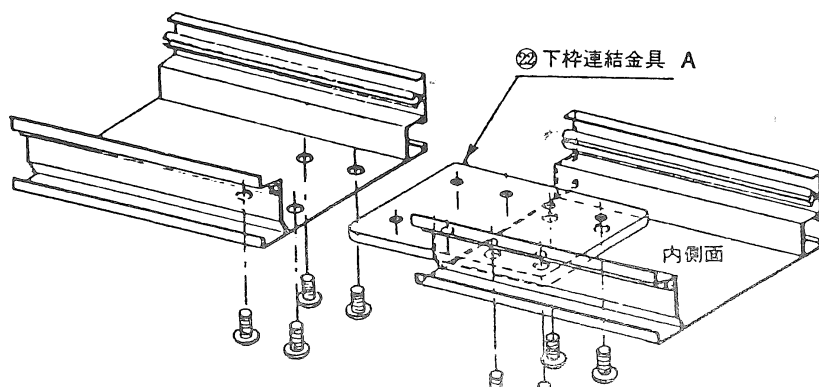
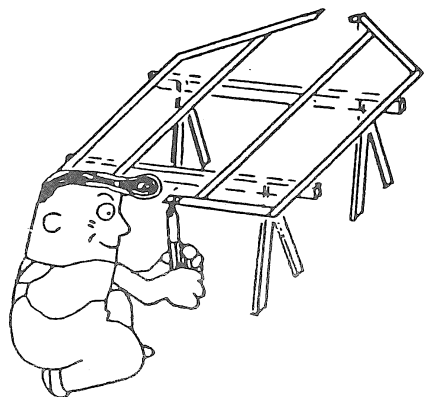
※ 組立補助ネジを使います。



わせます。

2

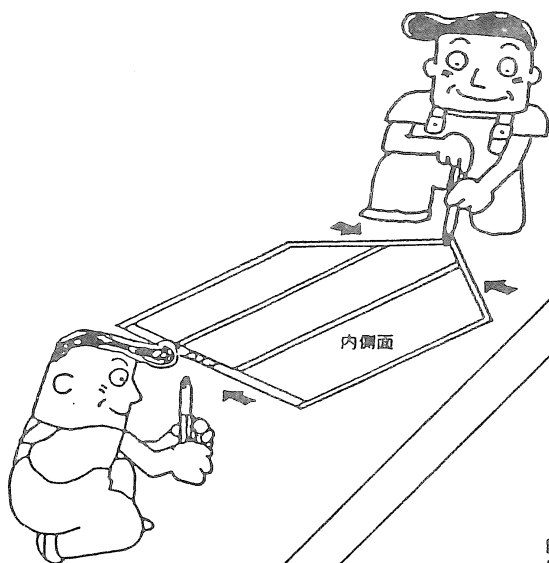
妻パネルの下部に㉒の下枠連結金具Aを左右どちらかに丸小ネジで仮止めして下さい。



⊕丸小ネジ
M6×10φ

3

左右の妻パネルを合わせ、しっかりと丸小ネジで連結して下さい。



4

あらかじめ工場で組み立ててある③の妻ランマを妻パネルの内側から、ナベタッピンネジで締め付けて下さい。(妻ランマは妻縦棧の間にはさみ込み、上へ押し上げて取り付けて下さい。)

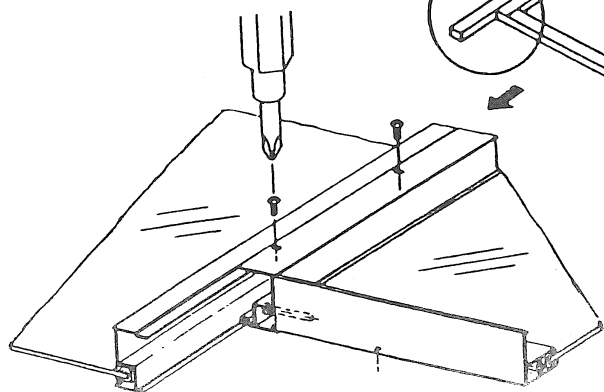
⊕ナベタッピンネジ
M4×10φ

⊕丸小ネジ
M6×10φ
六角ナット バネ座金

③妻ランマ



内側面
妻縦棧

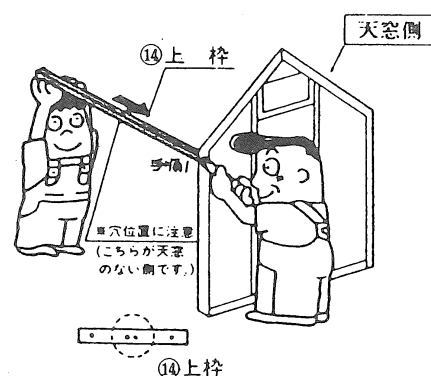
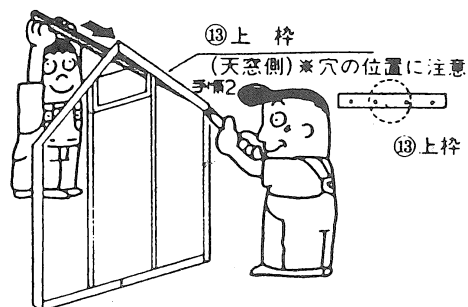
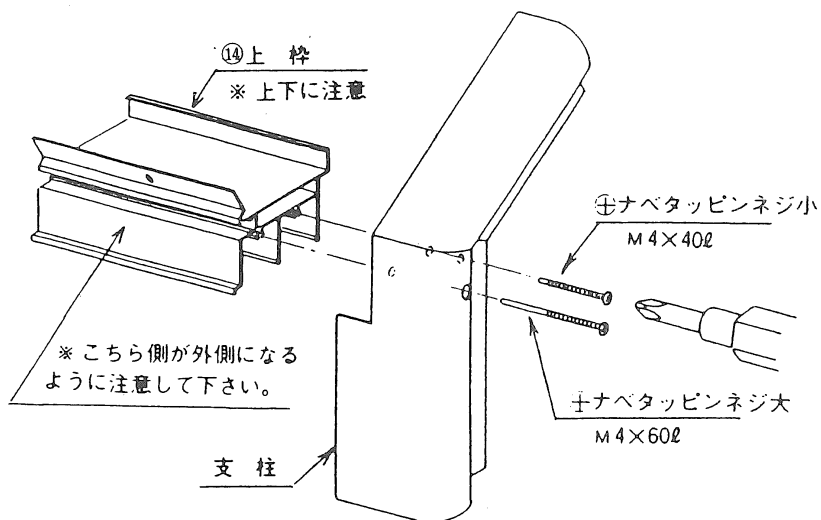


わくぶざいつま 枠部材を妻パネルに取り

1

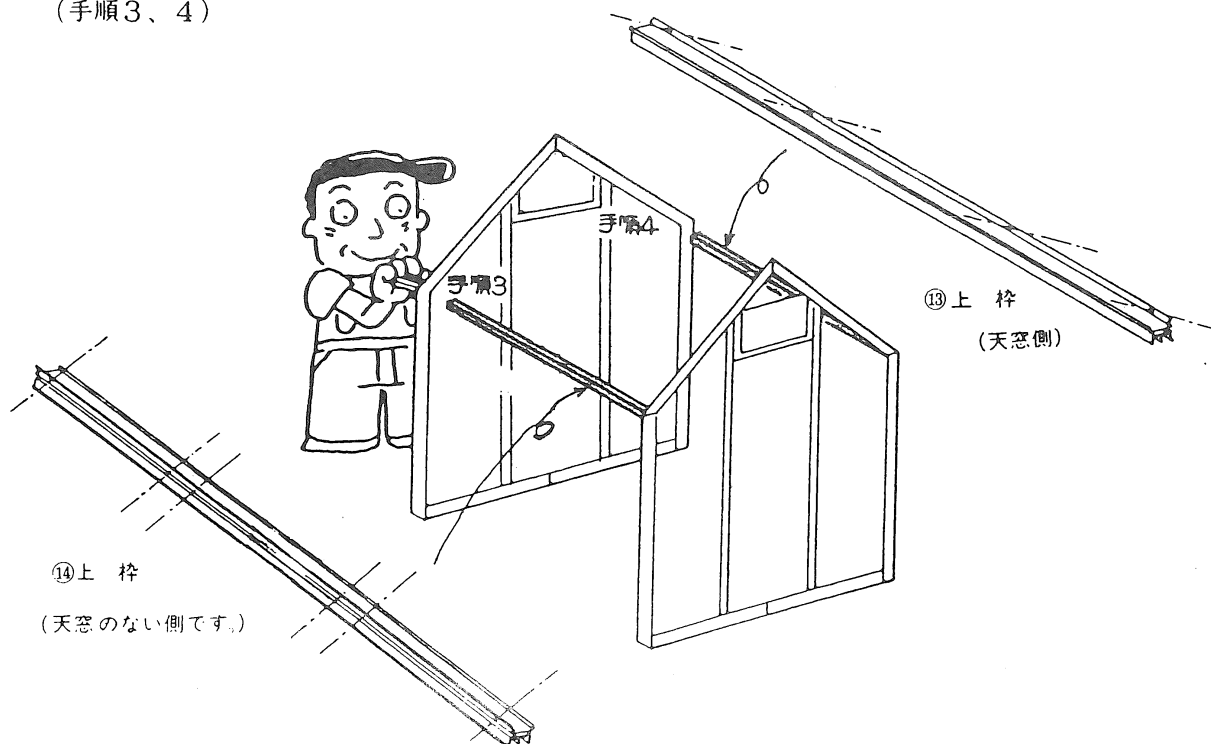
妻パネル(ドア正面)に、⑬と⑭の上枠をナベタッピンネジで締め付けて下さい。(手順1、2)

く上枠は⑬の天窓側と⑭の天窓のない側とがありますから、天窓をどちらに付けるかによって選んで下さい。



2

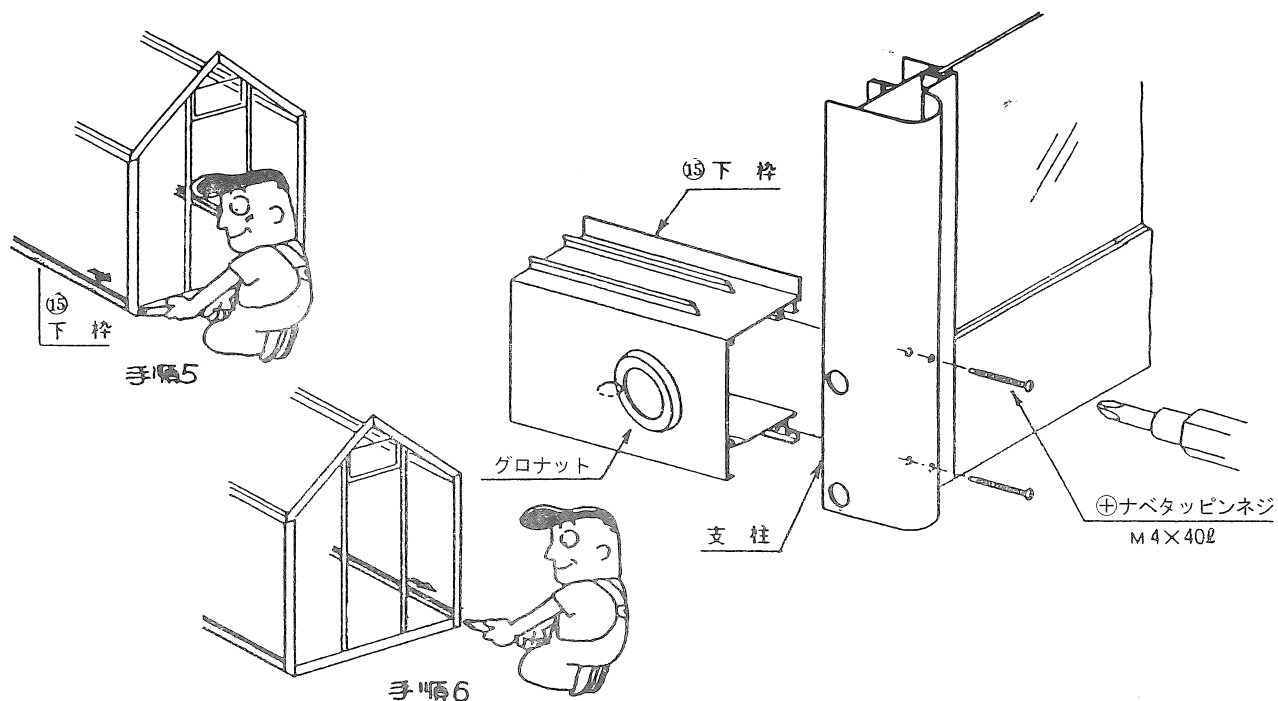
妻パネル(裏面側)に、⑬と⑭の上枠をナベタッピンネジで締め付けて下さい。(手順3、4)



付けます。

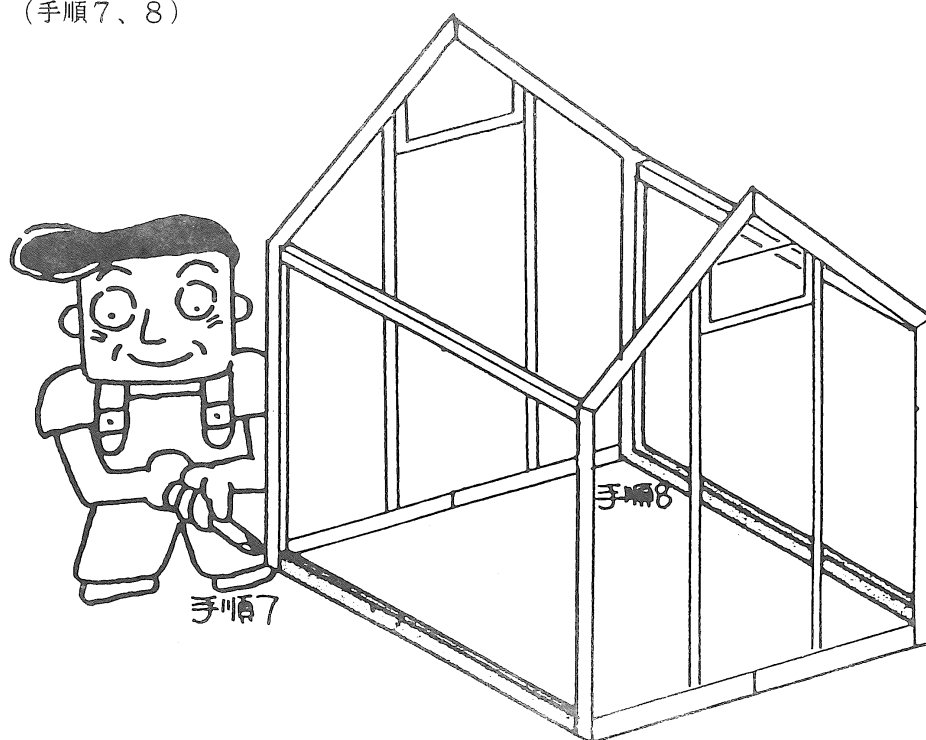
3

妻パネル(ドア付正面側)に、⑮の下枠をナベタッピンネジで締め付けて下さい。
(手順5、6)



4

妻パネル(裏面側)に、⑮の下枠をナベタッピンネジで締め付けて下さい。
(手順7、8)

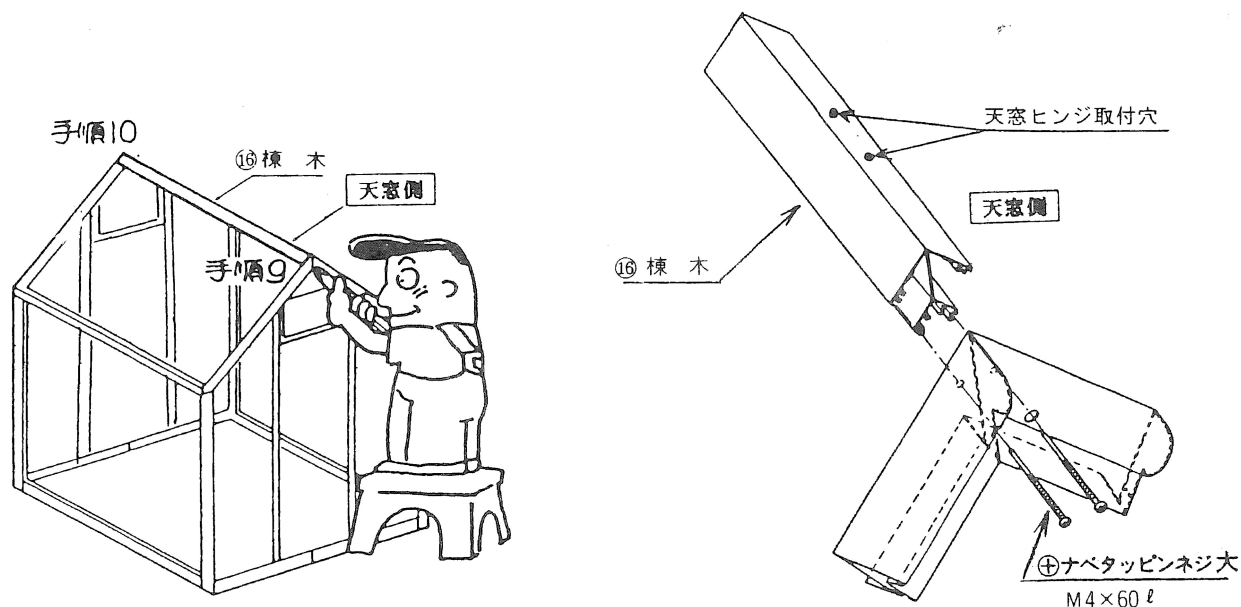


桼部材を妻パネルに取り付けます。

5

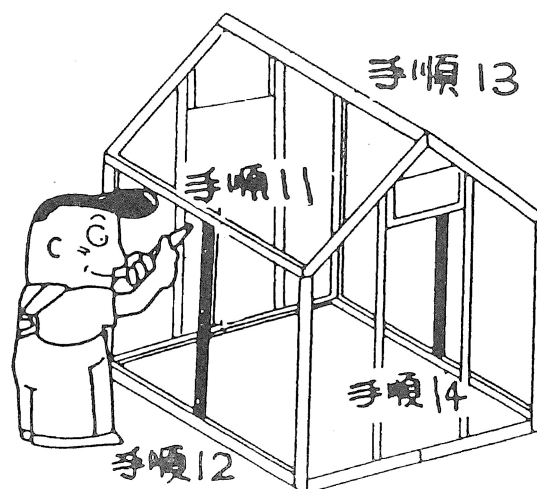
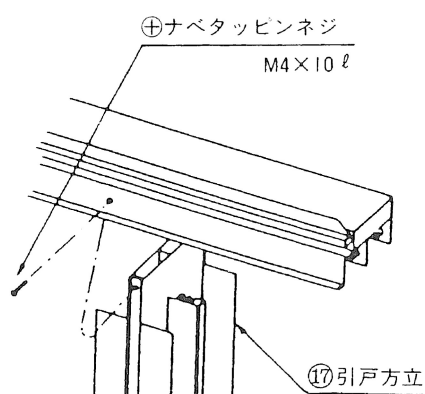
小さな台に乗って、妻パネル(ドア付正面側)と妻パネル(裏面側)に⑯の桼木をナベタッピンネジで締め付けて下さい。(手順9、10)

(天窓側に、必ず天窓ヒンジ取付穴が向いているよう注意して取り付けて下さい。)



6

上桼、下桼に⑰引戸方立をナベタッピンネジで締め付けて下さい。(手順11、12)
同じように反対側も締め付けて下さい。(手順13、14)

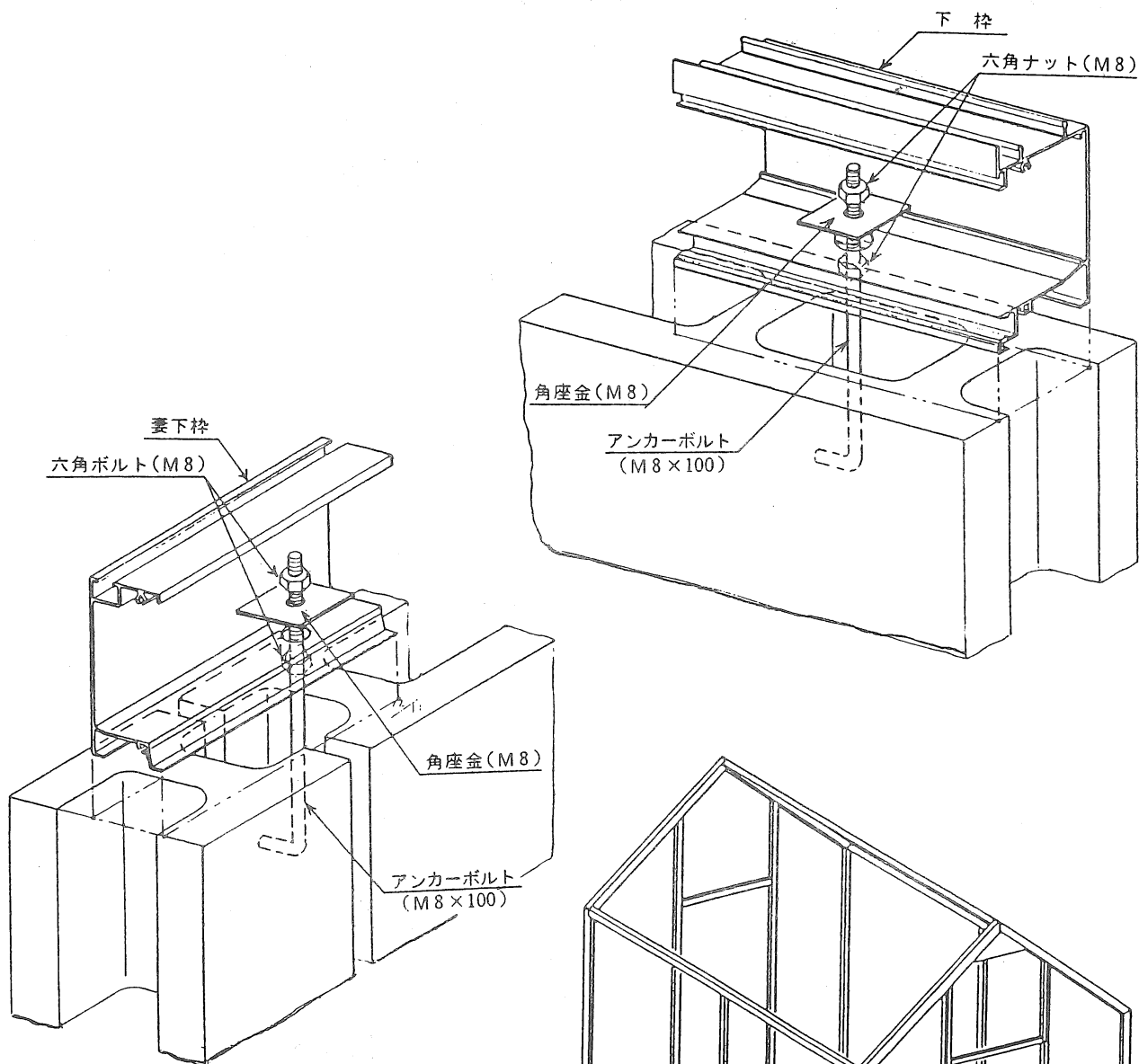


本体を地面に固定します。

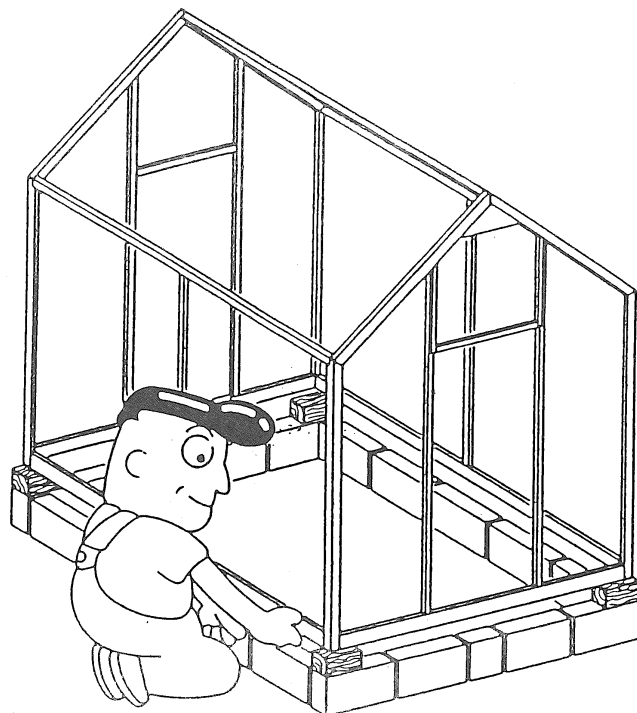
1

②⑤のアンカーボルトを下枠に、六角ナットで取り付けて下さい。

(木片等をかまして支柱を浮かせば、作業が容易になります。)



※アンカーボルトの取り付けが済めば、
木片を取りはずしA ④部材とブロック
基礎のすき間をモルタルで埋めて下さ
い。

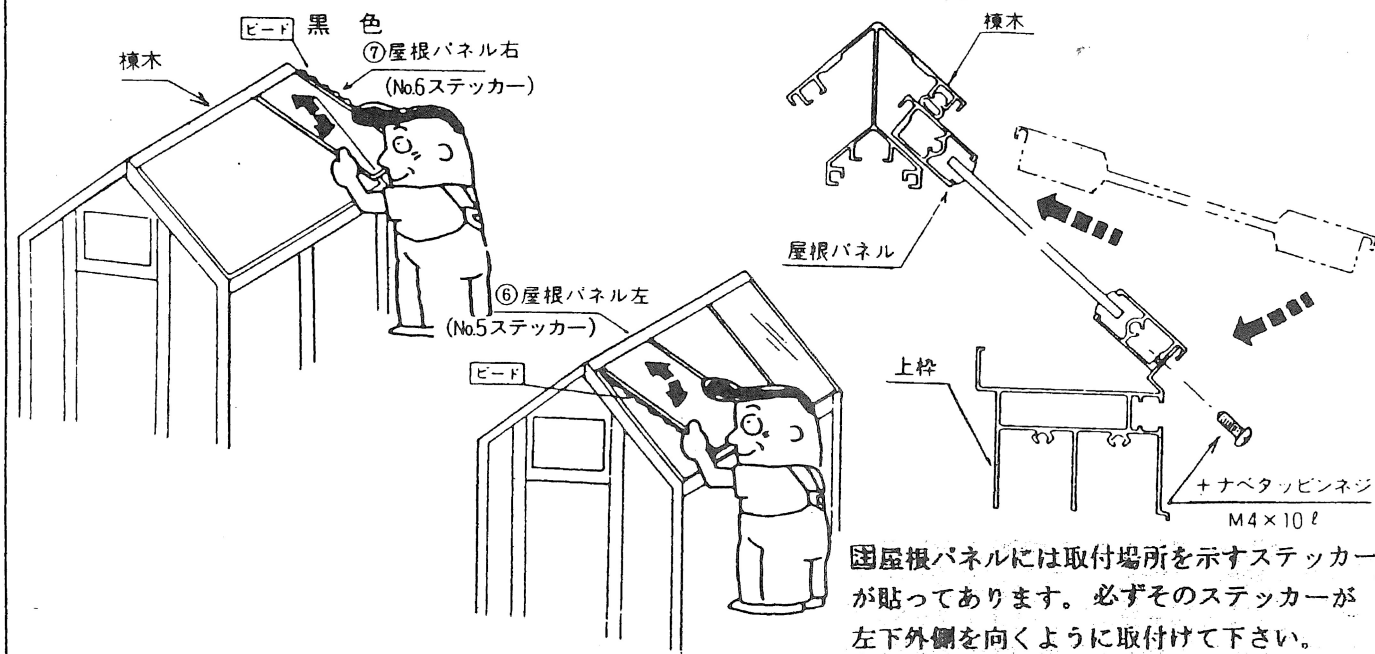


てん まど
屋根パネル・天窗を取り付

☆屋根パネル(天窗側)と天窗を取り付けます。

1

あらかじめ工場で組み立ててある⑥と⑦の屋根パネル(天窗側)を棟木に差し込んでから、下におろすように取り付けて下さい。屋根パネル⑥のビードが付いている部分を妻パネルの垂木に載るようにして下さい。同じように、屋根パネル⑦のビードが付いている部分を妻パネルの垂木に載るようにして下さい。

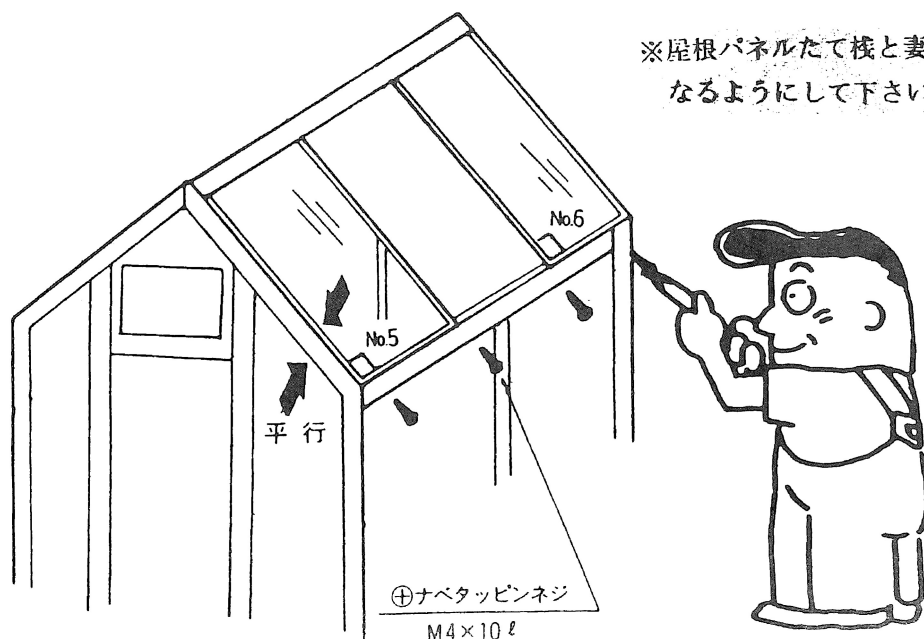


2

⑥と⑦の屋根パネル(左、右)と上枠をナベタッピンネジで締めて下さい。

(ゆっくりとネジを空回りさせない程度に。)

さらに屋根パネルの上端を内部からナベタッピンネジで棟木に固定して下さい。

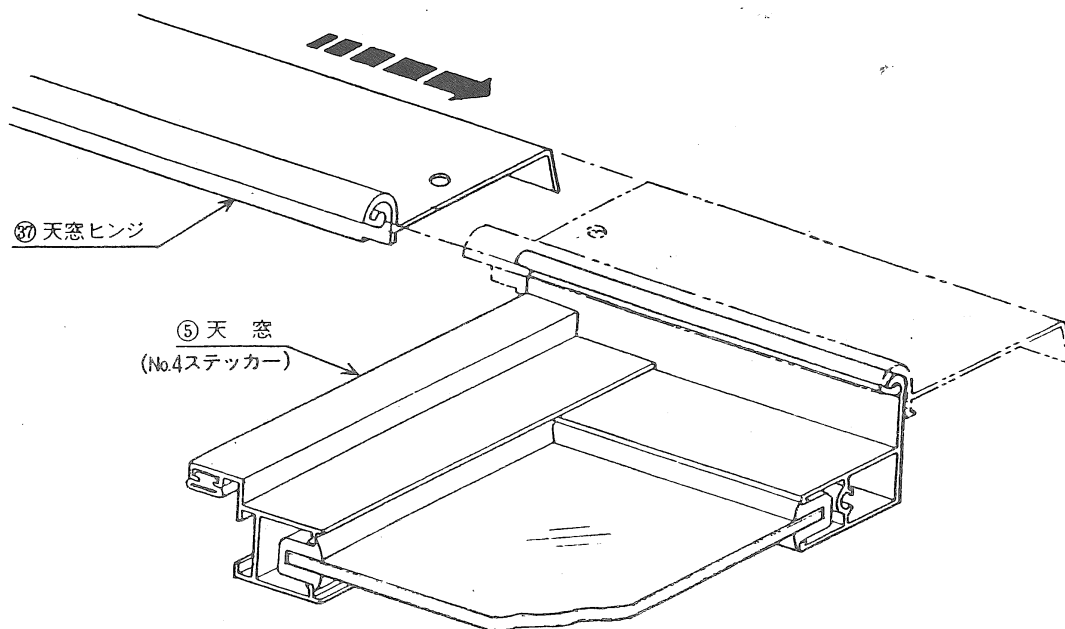


けます。

3

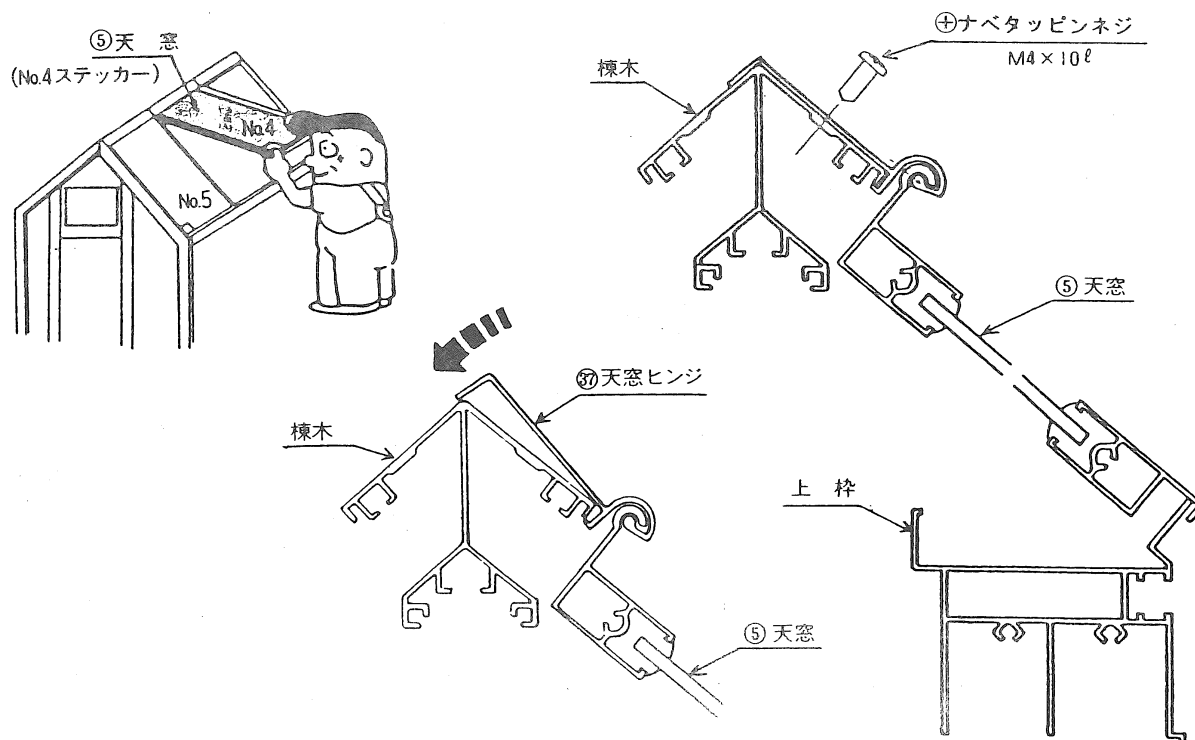
⑤の天窓に天窓ヒンジをスライドさせて差し込みます。

※高い所での作業ですので落ちないようにして下さい。



4

天窓ヒンジを下側からはさむように取り付け、ナベタッピンネジで固定します。

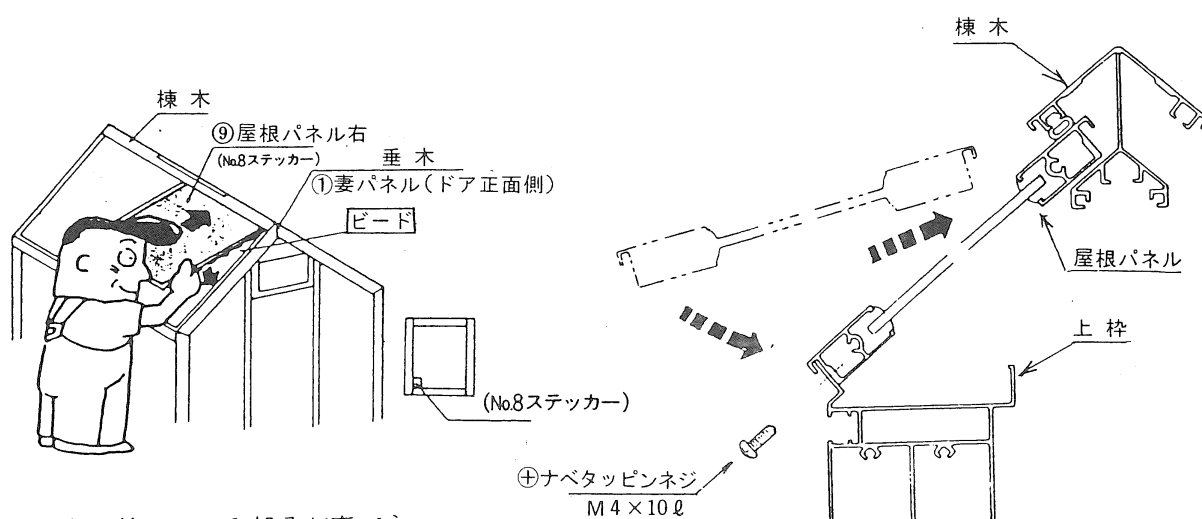


☆屋根パネル(裏面側)を取り付けます。

1

あらかじめ工場で組み立ててある⑨の屋根パネル(右)を棟木に差し込んでから下におろし、上枠をパネルの溝にはめ込んで取り付けて下さい。

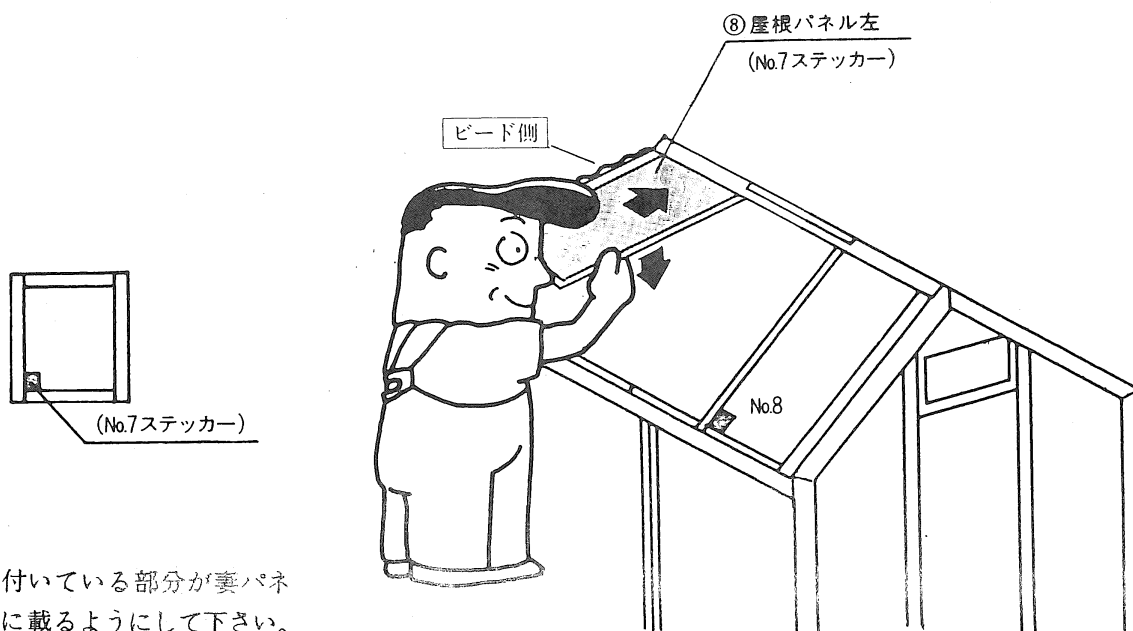
※注) 屋根パネルには取付場所を示すステッカーが貼ってあります。必ずそのステッカーが左下室外側を向くように取り付けて下さい。



※ビードの付いている部分が妻パネルの垂木に載るようにして下さい。

2

⑧の屋根パネル(左)を棟木に差し込んでから、下におろすように取り付けて下さい。

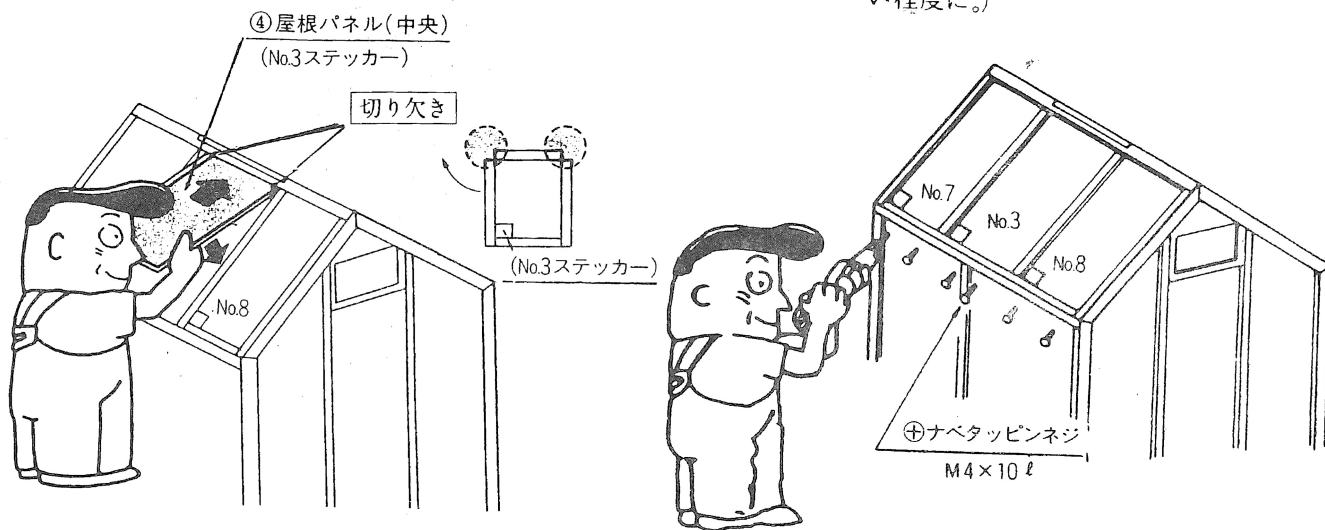


※ビードの付いている部分が妻パネルの垂木に載るようにして下さい。

けます。

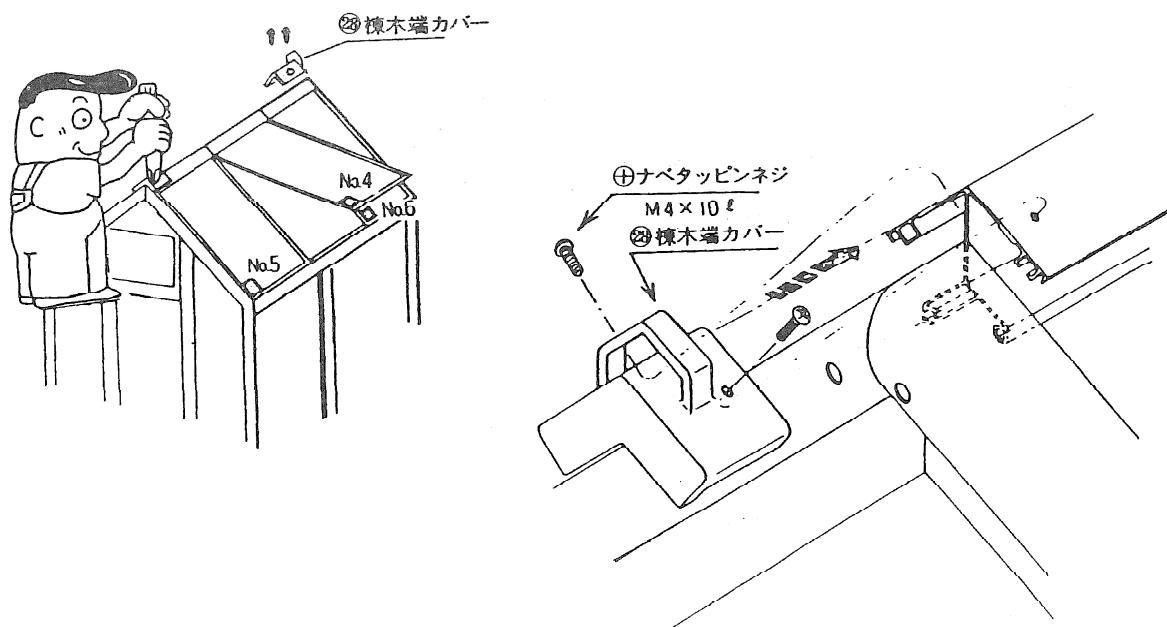
- 3** ④の屋根パネル(中央)を棟木に差し込んでから、
下におろすように、取り付けて下さい。

④と⑧と⑨の屋根パネルと上枠を
ナベタッピンネジで締めて下さい。
(ゆっくりと、ネジを空回りさせない程度に。)



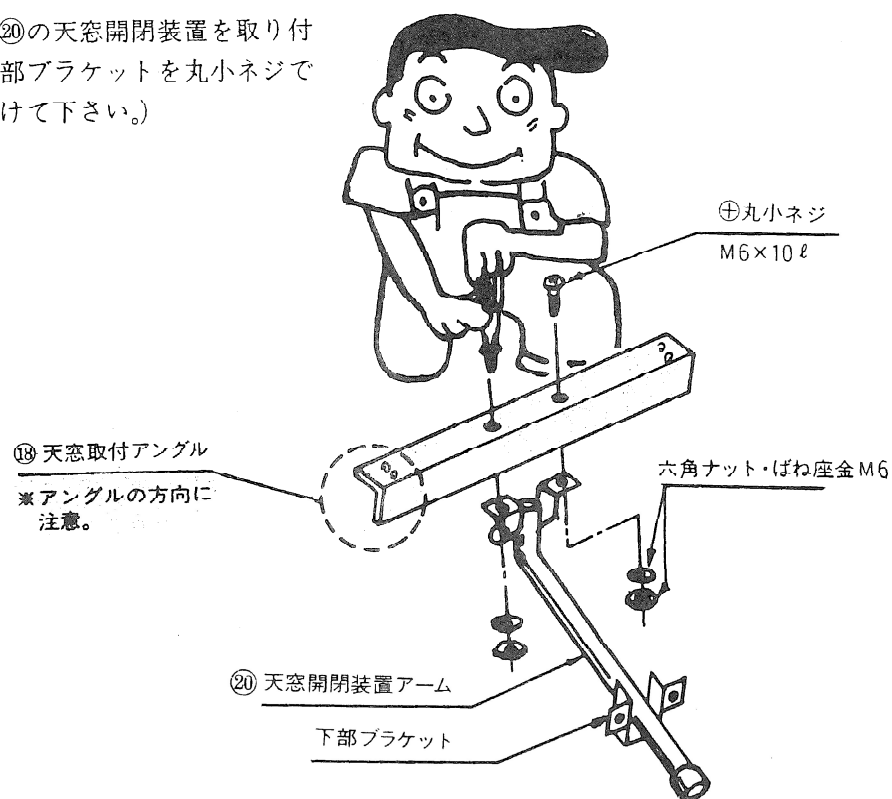
(屋根^{てんぐみ}縦^{たて}ばに切り欠きのあるのが、
④の屋根パネル中央です。)

- 4** 屋根パネルを全て取り付けてから、㊸の棟木端カバーを両側に取り付けて下さい。



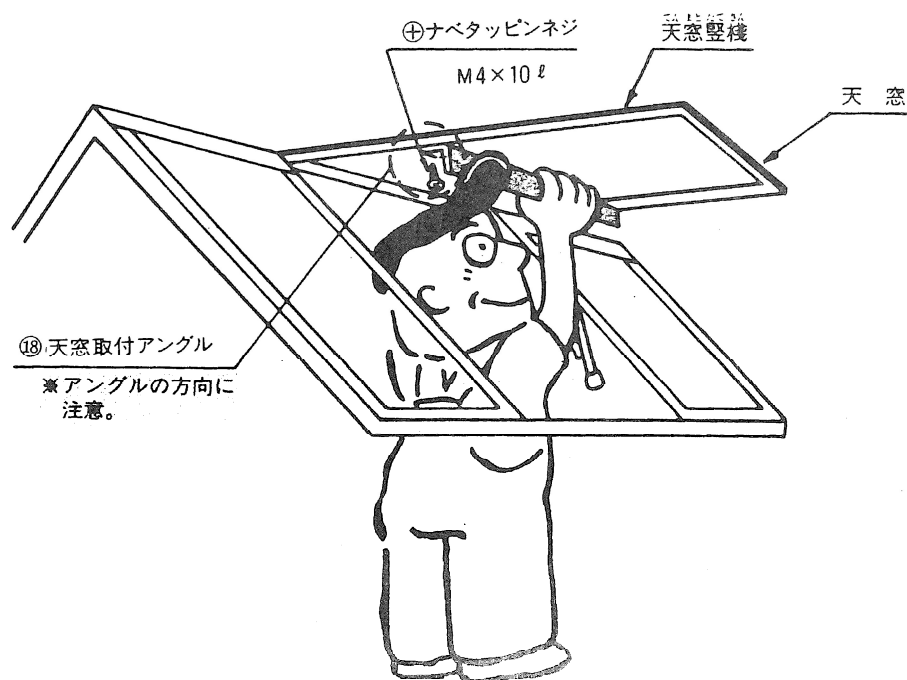
1

⑬の天窓取付アングルに、⑳の天窓開閉装置を取り付けます。(アームに付いた上部ブラケットを丸小ネジで天窓取付アングルに取り付けて下さい。)



2

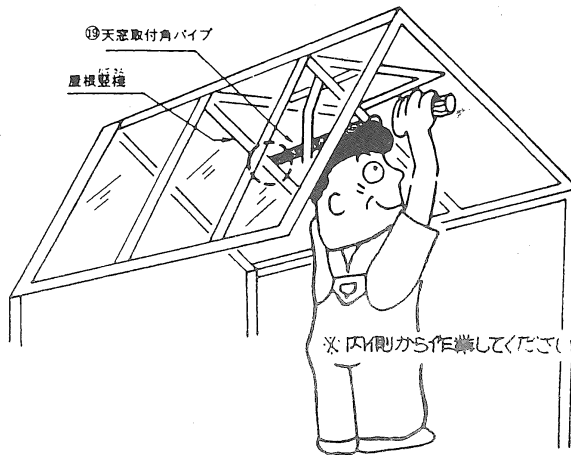
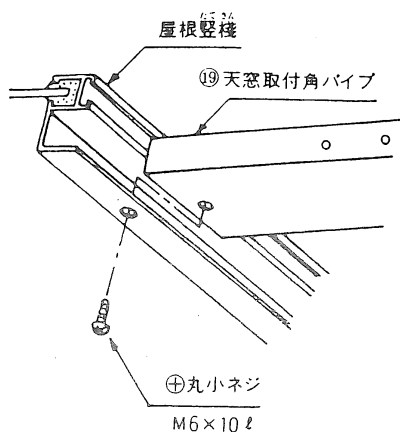
⑬の天窓取付アングルを天窓の天窓^{てんまど}縦^{たて}棧^かにナベ^{なべ}タッピン^{たっぴん}ネジで取り付けて下さい。



ます。

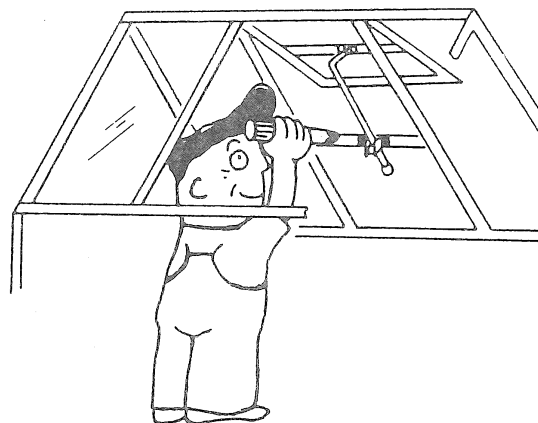
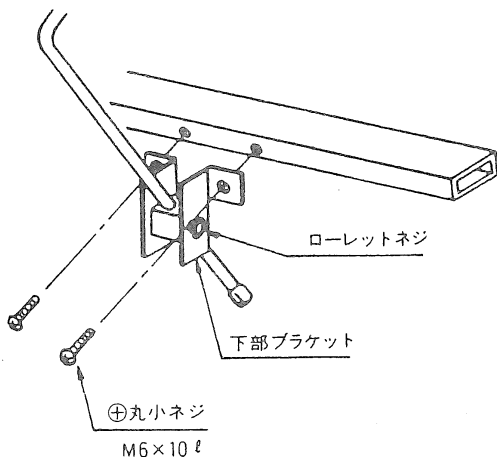
3

⑬の天窓取付角パイプを屋根パネルの屋根^{たてきん}縦椽に丸小ネジで取り付けて下さい。
この時、角パイプの中央に開けられた穴が棟側になるようにして下さい。



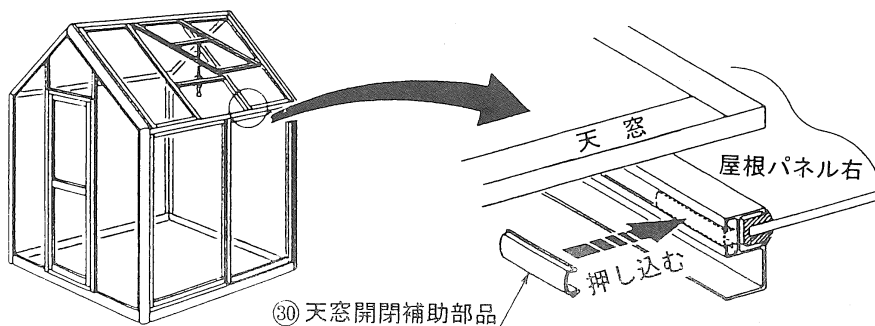
4

天窓開閉装置に、下部ブラケットに付いているローレットネジをゆるめ、下部ブラケットを天窓取付角パイプに丸小ネジで取り付けて下さい。



5

屋根パネル天窓側下部(左・右)に、⑳天窓開閉補助部品を押し込むように取り付けて下さい。

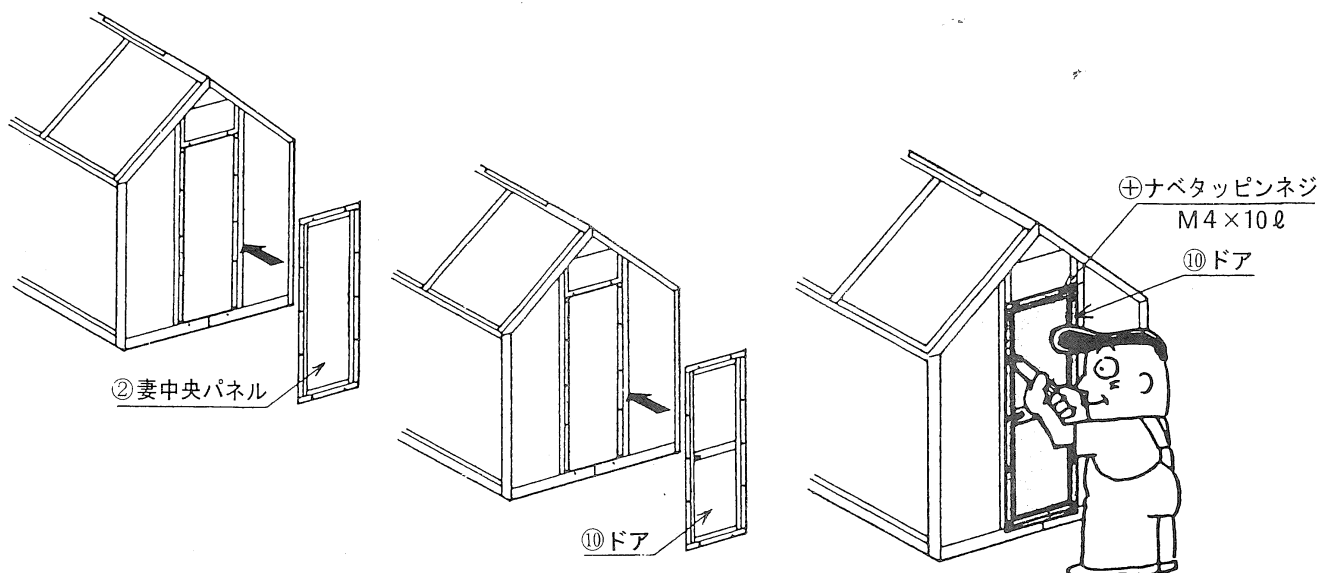


ドア枠と妻中央パネルを

※出入口が引き戸仕様の場合、妻引き戸梱包の中の組立説明書をお読みください。

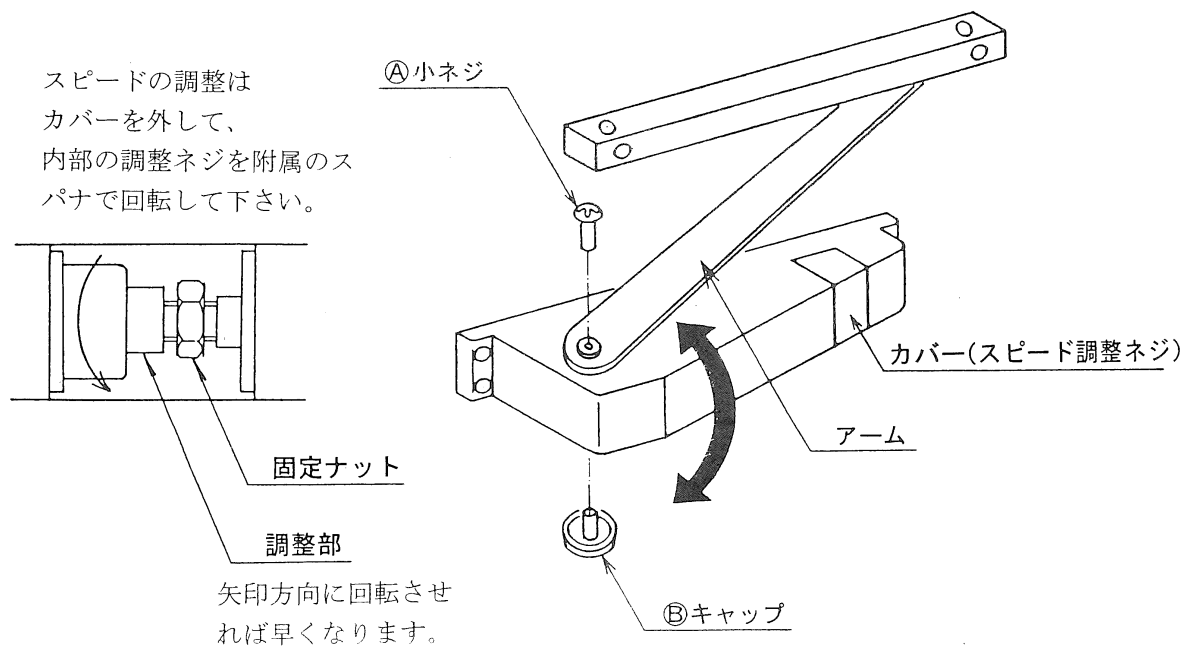
1

あらかじめ工場で組み立ててある⑩のドアと②の妻中央パネルを妻パネルにはめ込み、ナベタッピンネジで枠に締め付けて下さい。 ゆっくりとネジを空回りさせない程度に
(ドアは、右開きにも左開きにもできます。)



2

ドアクローザーは右開きドア用にセッティングしています。
左開きの場合は、①小ネジと②キャップを外して、アームを反対側(B側)に付け替えて下さい。



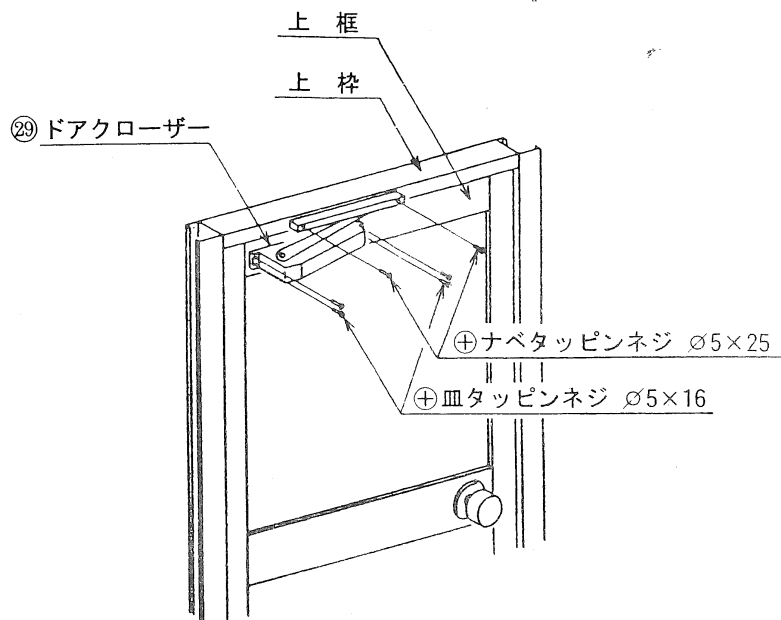
取り付けます。

3

ドアを開めて内側から作業して下さい。

④ナベタッピンネジ $\phi 5 \times 25$ でレールを固定して下さい。

次に④皿タッピンネジ $\phi 5 \times 16$ でドアクローザー本体を上框に押し付けながら取り付けて下さい。

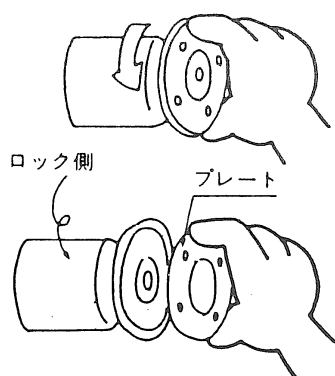


4

③のドアロックを、セットになっている取り付け工具を使って取り付けて下さい。

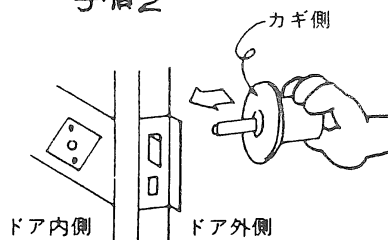
(手順1、2、3、4)

手順1



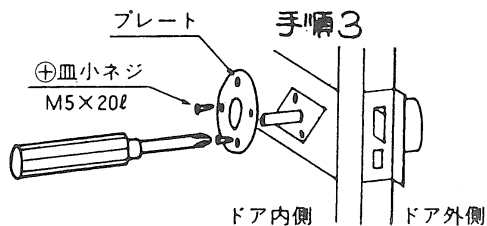
手順1：あらかじめロック側についているプレートを、手で回してはずして下さい。

手順2



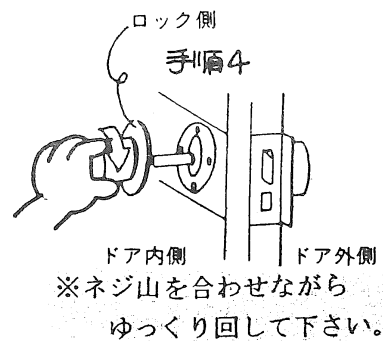
手順2：カギ側をドアにあけてある穴に差し込みます。

手順3

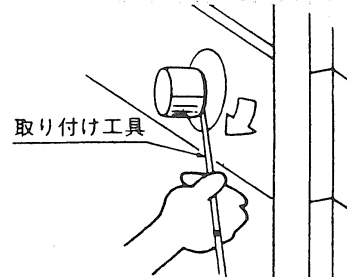


手順3：内側からプレートを皿小ネジでドアに締め付けます。

手順4



※ネジ山を合わせながらゆっくり回して下さい。

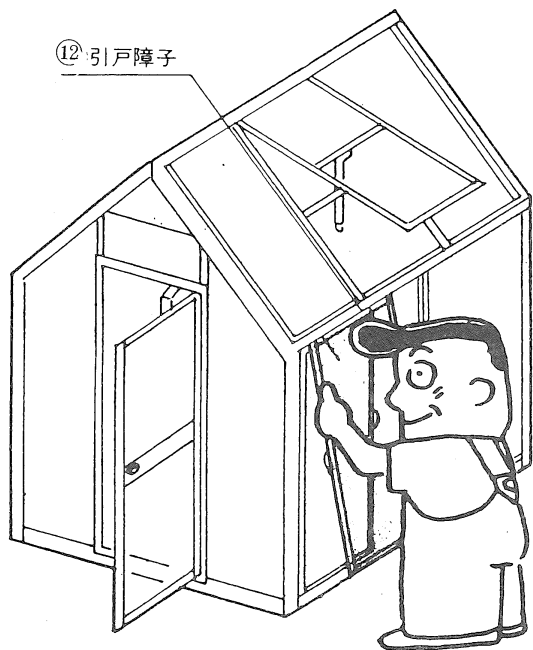


手順4：ロック側をある程度まで手でねじ込んでから専用の取り付け工具で本締めして下さい。

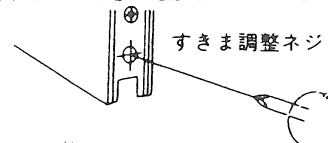
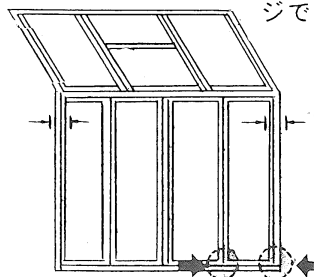
引戸障子を取り付けます。

⑫の引戸障子をクレセント(カギ)が内側になるように、上枠に差し込みながら取り付けて下さい。

＜反対側も同じように、取り付けて下さい。＞



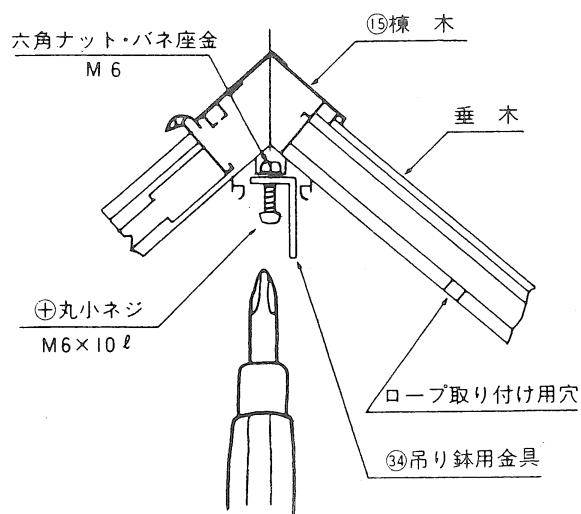
※STEP 8のブレースセットを取り付けてからすきま調整
ジで引戸障子の高さ調整をして下さい。



⑫引戸障子の下部にある戸車の高さを⊕ドライバーにより調節し、引戸障子と支柱の間隙をなくして下さい。

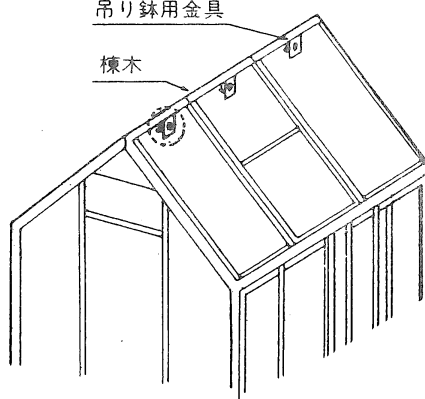
その他の部品を取り付けます。

吊り鉢用金具の取り付け

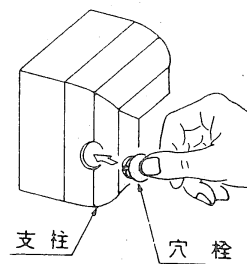


吊り鉢用金具

棟木



穴栓の取り付け



※⑭吊り鉢用金具を丸小ネジで棟木に取り付けて下さい。⑬棟木の下側両端の切り欠き部から図の要領で差し込み適当な位置でネジを締めて下さい。

※垂木の中央に明いている穴にロープを引っかけて、吊り鉢用に利用して下さい。

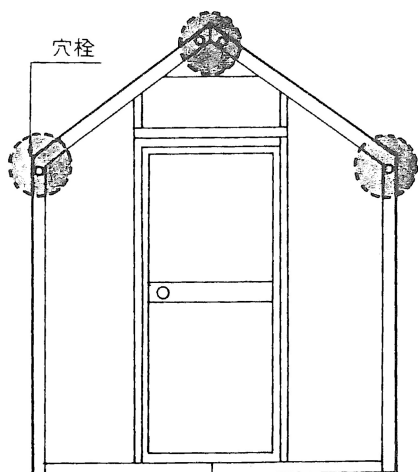
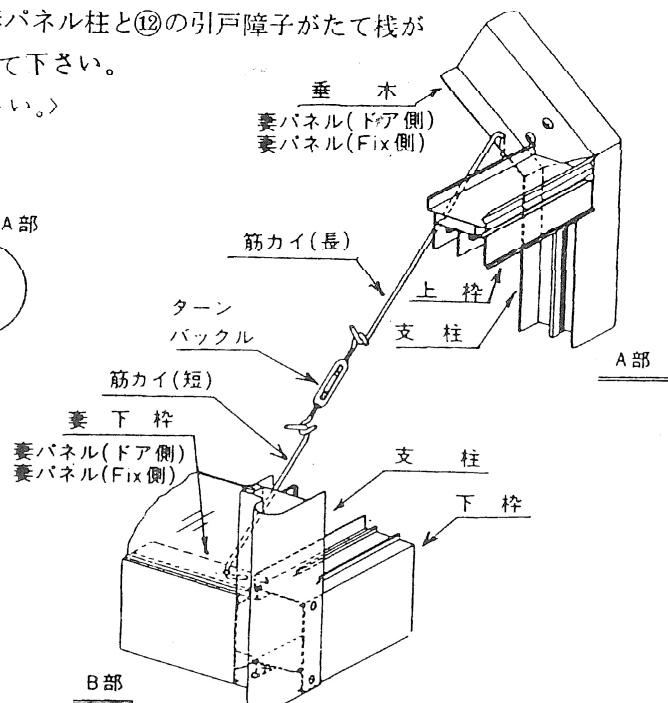
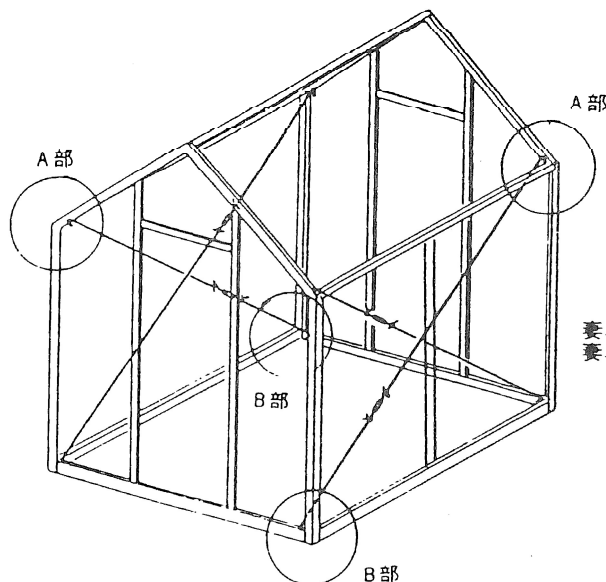
ブレースセットを取り付けます。

③のブレースセットは、垂木と妻木枠の穴に引っ掛けて取り付けして下さい。

ターンバックルについているボルトをできるだけ長く伸ばすと取り付け作業が容易になります。

取り付け後は、締めて下さい。※①の妻パネル柱と⑫の引戸障子がたて桟が平行になるようにターンバックルを締めて下さい。

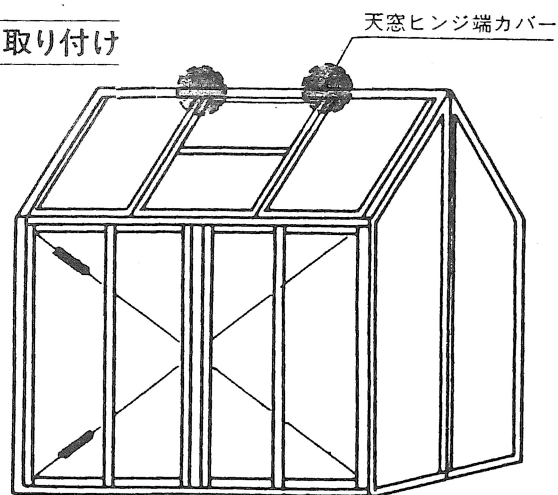
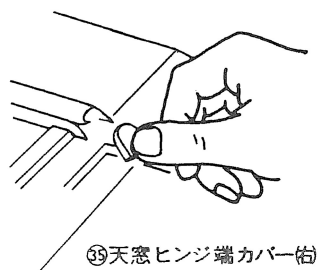
〈反対側も同じように、取り付けして下さい。〉



穴栓を支柱の穴に取り付けて下さい。
また、垂木の穴にも取り付けして下さい。

取り付け穴は合計8ヶ所あります。

天窗ヒンジ端カバーの取り付け

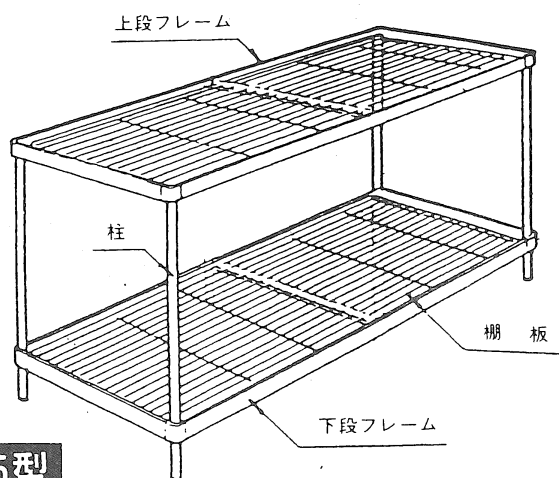


※⑭天窗ヒンジ端カバーを図の要領で
取り付けして下さい。⑭天窗ヒンジ端
カバーは切り込みの位置により、(右)
用と(左)用があります。

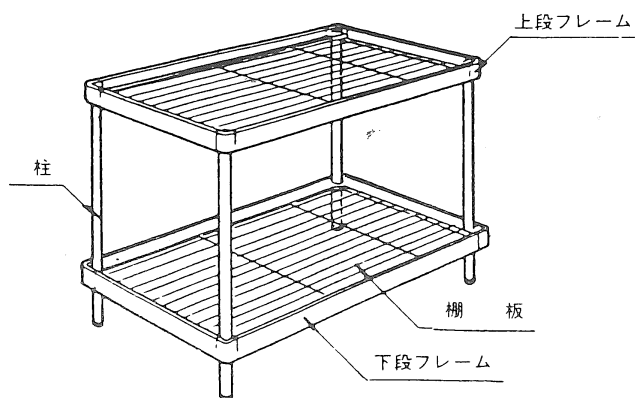
オプションの園芸棚を組

正しく組み立てていただくために、手順に従って組み立て作業を行ってください。

① 本体(完成図)



15型



08型

② 梱包数量表

15型

幅 683
×
長さ 1482
×
高さ 900mm

柱	数量4	上下段フレーム数量2
棚板	数量4	M5×6ナベ小ネジ
		数量8

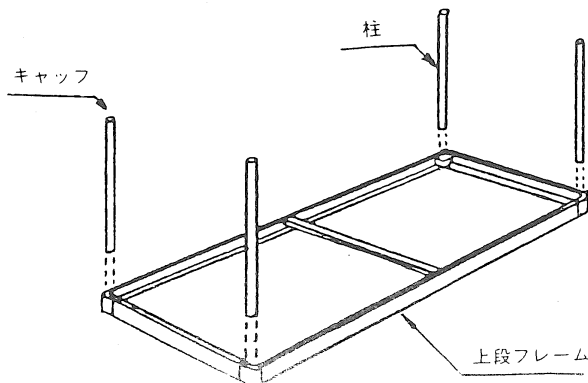
08型

幅 503
×
長さ 787
×
高さ 900mm

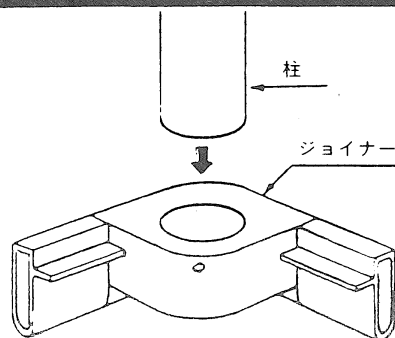
柱	数量4	上下段フレーム数量2
棚板	数量2	M5×6ナベ小ネジ
		数量8

③ 柱と上段フレームの仮組み

上段フレームをひっくりかえて平らな面に置き、ジョイナーにキャップを上にした柱を差し込んで下さい。



ここからの組み立て手順は15型で行なっていますが、08型も同手順で組み立てて下さい

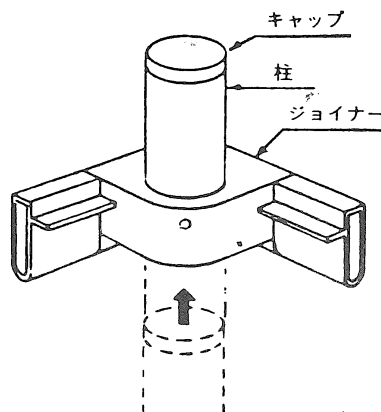
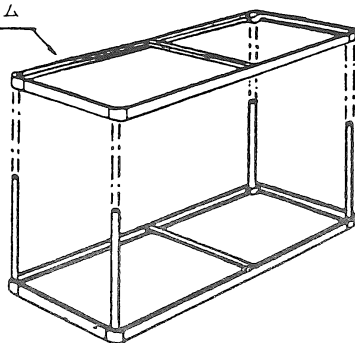


み立てます。(その1)

④ 柱と下段フレームの仮組み

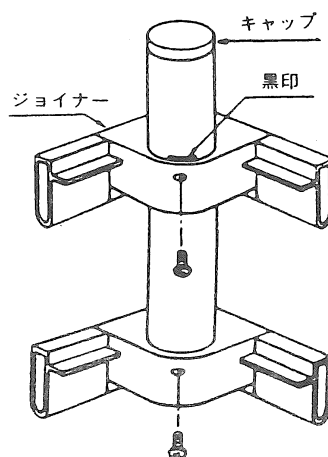
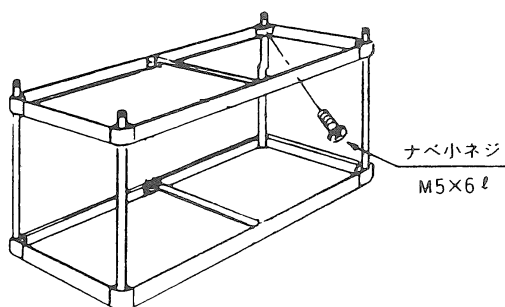
下段フレームをひっくりかえして、ジョイナーに柱を通します。

下段フレーム

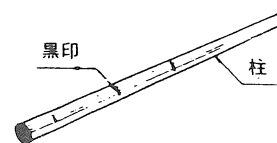


⑤ 上段フレーム・下段フレームと柱の固定

フレームと柱をM5×6ℓナベ小ネジで締め付けて下さい。(8カ所)



注：柱には3カ所の黒印が打ってあります。

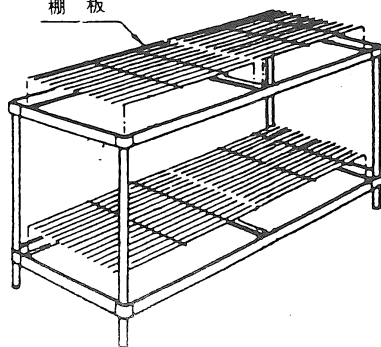


柱の黒印とジョイナーの上面で締め付けて固定して下さい。

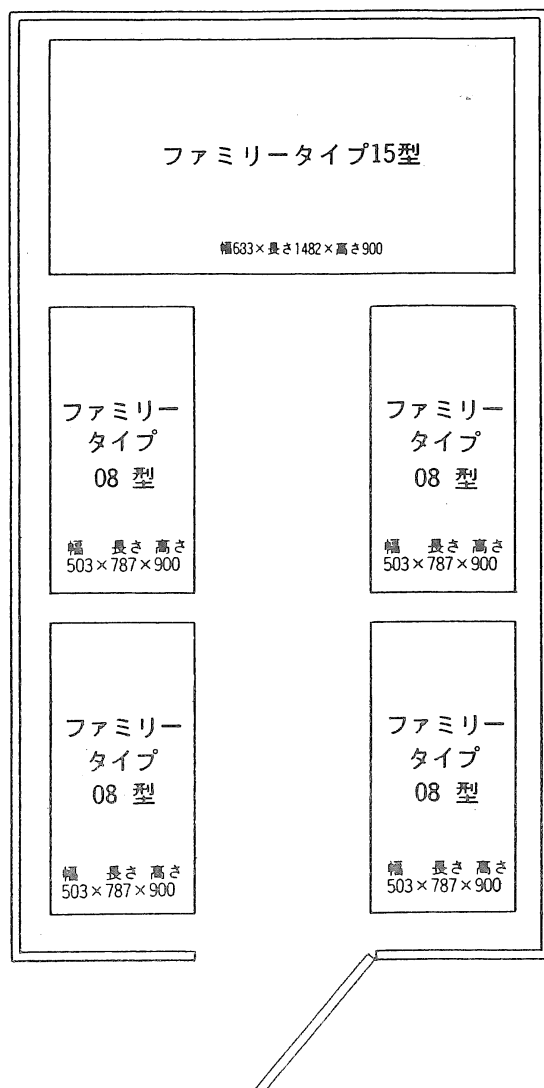
棚板の設置

組みあがりました本体をひっくりかえして棚板を置き、完成です。

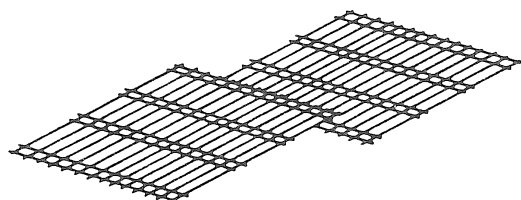
棚板



園芸棚設置例

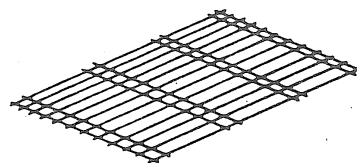


15型用棚板



- 寸法：W725.5×L654
- スチールバー（樹脂コーティング）
- 4枚入り

08型用棚板

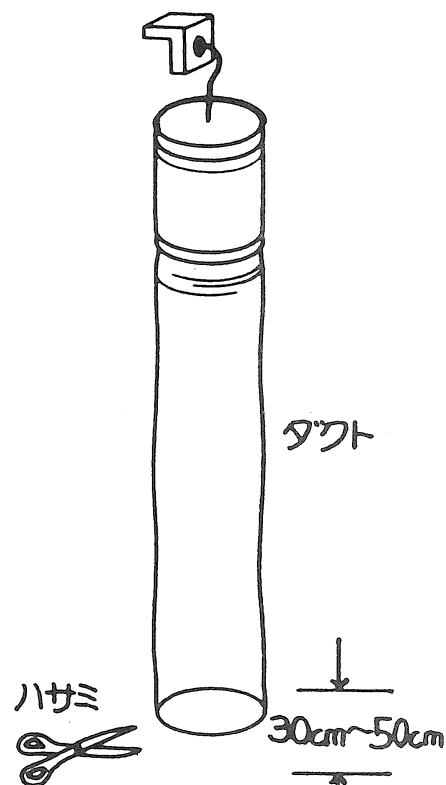


- 寸法：W757×L474
- スチールバー（樹脂コーティング）
- 2枚入り

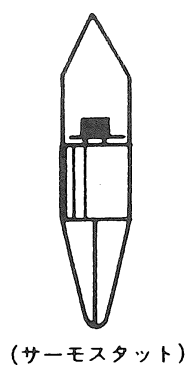
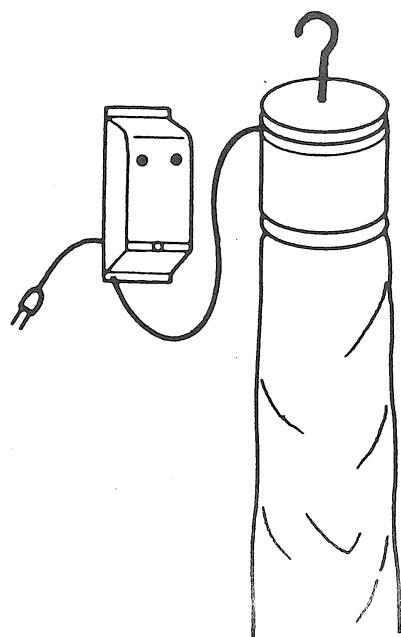
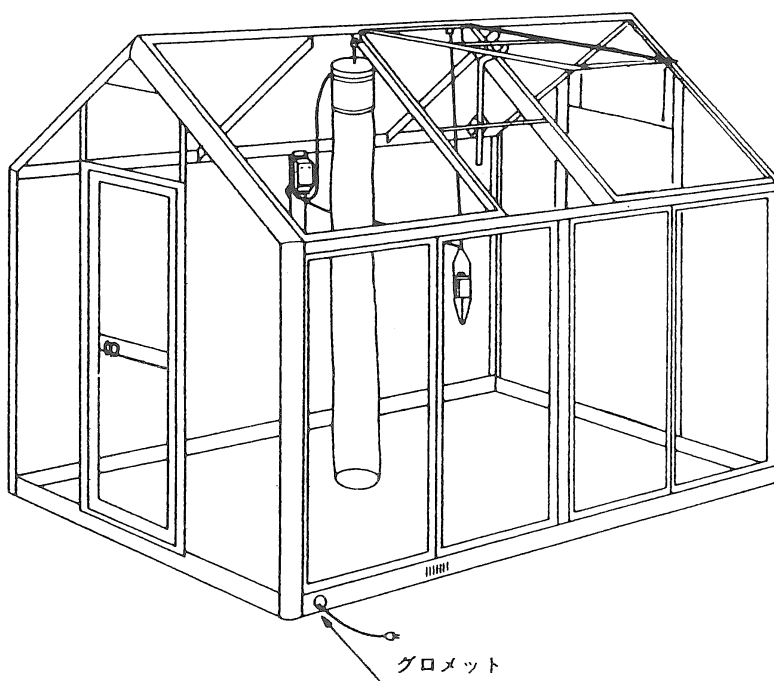
の2)

電気温風機SF2001P型

●SF2001Pは200V用です。一般家庭の100Vには使用出来ませんので、電気の引き込み、配線は近所の電気店に御相談して下さい。
吊り鉢用金具にぶらさげ、下枠のグロメットからコンセントコードを出して下さい。



※ダクトは地面から30～50cm
あくようにして下さい。



(サーモスタット)

- 寸法：φ250×H350
- 定格負荷：単相・3相200V
- 定格周波数：50/60Hz
- 消費電力：2kw
- 安全装置：過熱防止サーモスタット
- 付属部品付

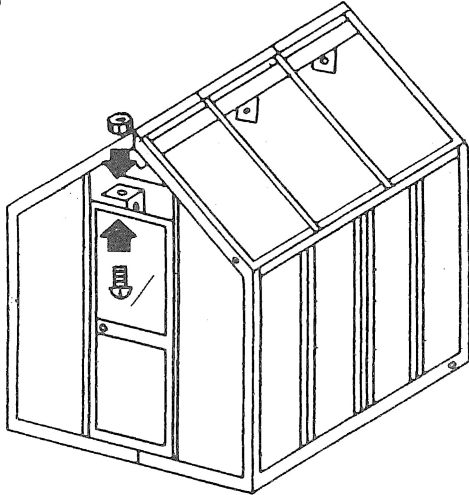
- サーモスタット：ST15R
 - 寸法：φ70×H240
 - 定格負荷：AC100V、15A 250V、6A
 - 温度調節：0～40℃

電気温風機SF2001P型については取扱説明書をよく読んでから使用して下さい。

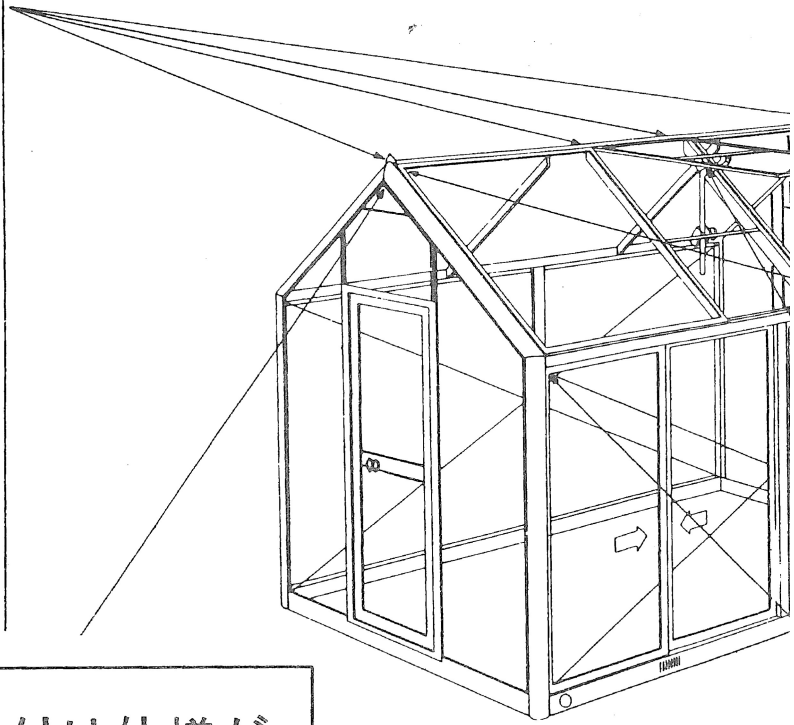
日除カーテン 番号順に取り付けて下さい。

※内側に日除けカーテンを取り付けます。

1 吊り鉢用金具の取り付け



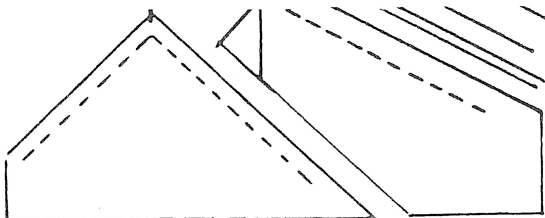
※吊鉢用金具を棟木の下側の両端にある切り込みから5ヶ差し込んで下さい。
棟木の両端2ヶと天窗部に3ヶ約60cmごとに取り付けして下さい。



日除カーテンの取付は仕様が
変わりましたのでオプション
梱包に入っている取付説明書
を御参照下さい。

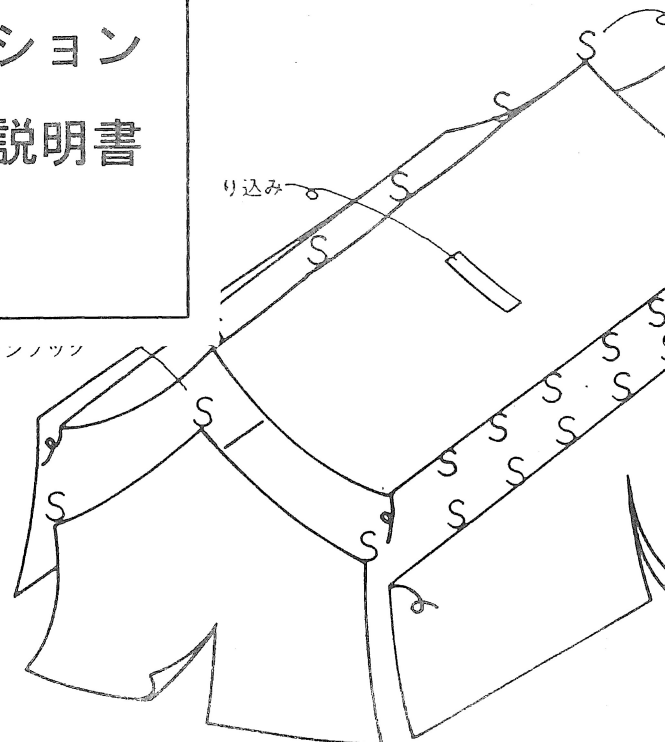
5 日

カーテンフック

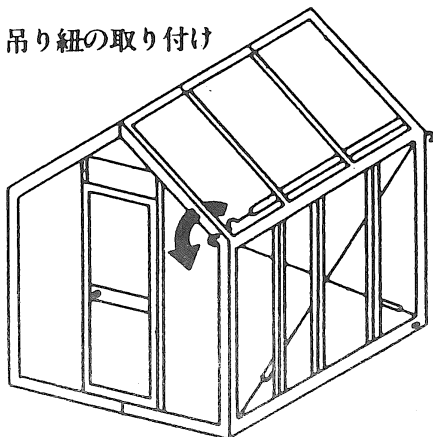


※カーテンフックを吊り鉢用金具に引っかけて下さい。両肩部のカーテンフックは吊り紐に取り付けて下さい。切り込みのある方が(ドア側)です。

カーテンノック

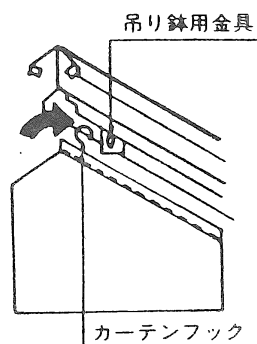


2 吊り紐の取り付け



※垂木のブレース取り付け用穴に吊り紐を2本引っ掛けて下さい。

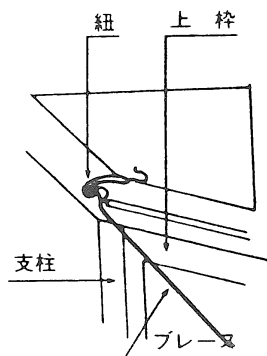
3 日除け(棟部)の取り付け



※カーテンフックを5ヶ所、吊り鉢用金具に引っ掛けて下さい。

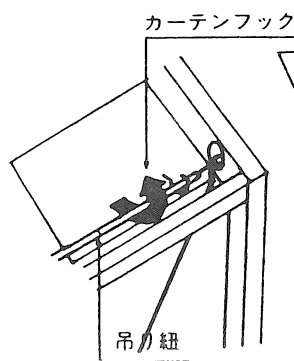
1 日除け(軒部)の取り付け

軒部端



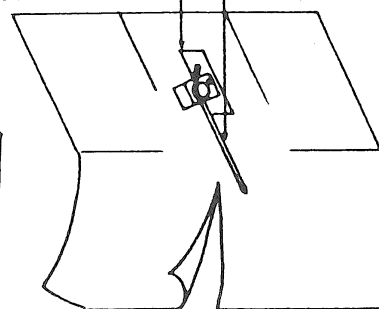
※端部の紐をブレースの先端に結んで下さい。

軒部



※カーテンフックを7ヶ所、吊り紐に引っ掛けて下さい。

切り込み 天窓開閉装置



※天窓開閉装置は切り込みから室内側に入れて下さい。

カーテンフック

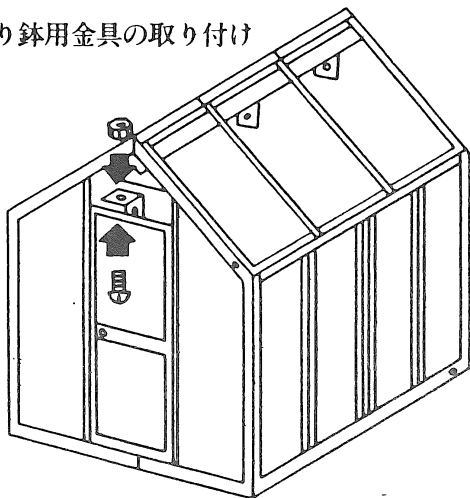
紐

- 寸法：W1,560×H2,150×D2,400
- ダイオネット 遮光率 60～65%
- 取付部品付

オプションの取り付け方。(そ

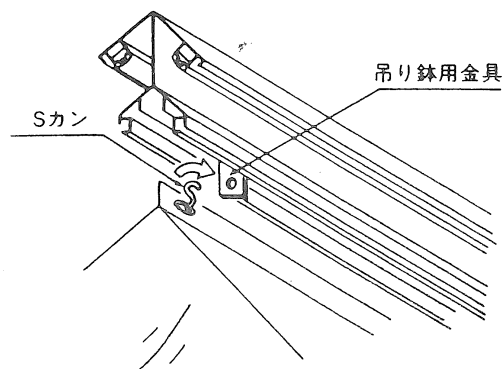
保温カーテン 内側に保温カーテンを取り付けます。番号順に取り付けて下さい。

1 吊り鉢用金具の取り付け



※吊り鉢用金具を棟木の下側の両端にある切り込みから5ヶ差し込んで下さい。
棟木の両端2ヶと天窓部に3ヶ約60cmごとに取り付けして下さい。

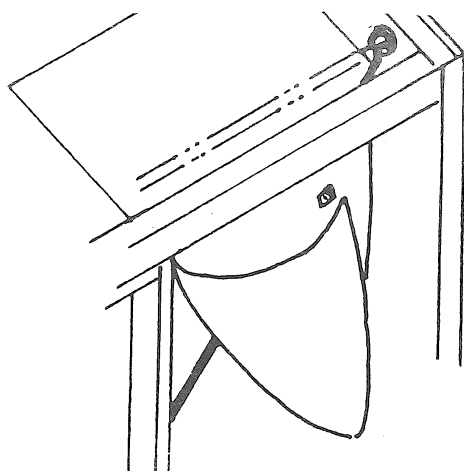
2 棟部の取り付け



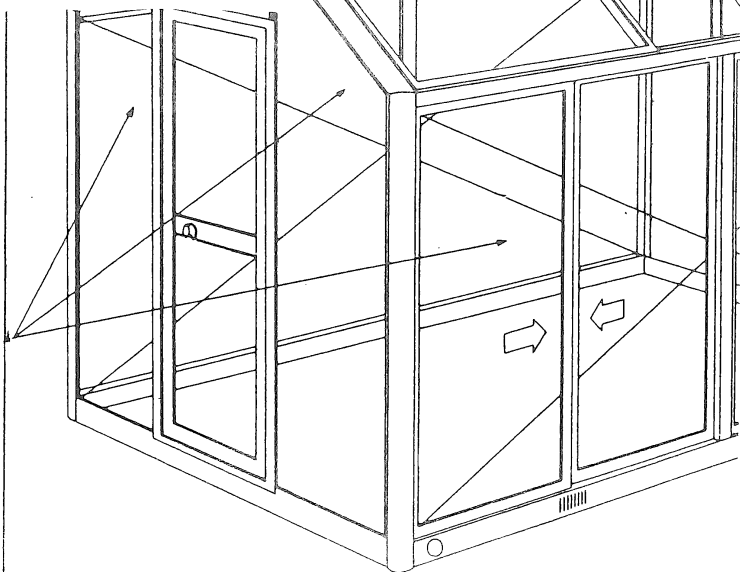
※Sカンを4ヶ所吊り鉢用金具に引っ掛けて下さい。

保温カーテンの取付は仕様が
変わりましたのでオプション
梱包に入っている取付説明書
を御参照下さい。

5 マジ



※鉢の出し入れの際に便利のように、めくり上げた保温カーテンを予備のマジックテープを使って止めて下さい。ドア側も同じ要領で取り付けして下さい。

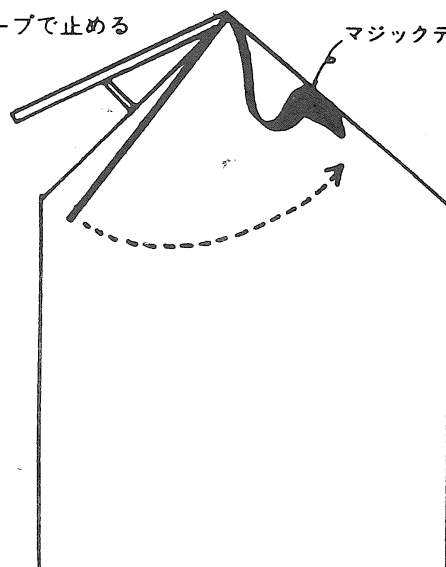
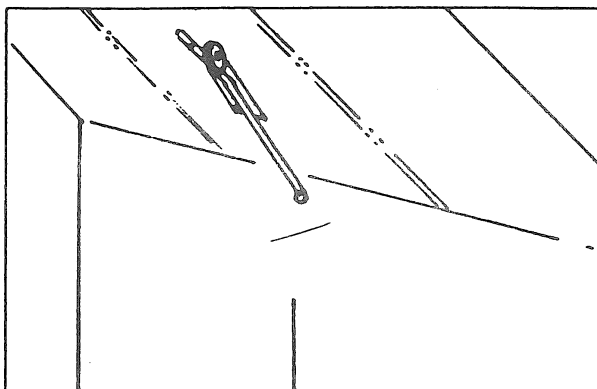


3 天窓部の取り付け

マジックテープで止める

マジックテープ

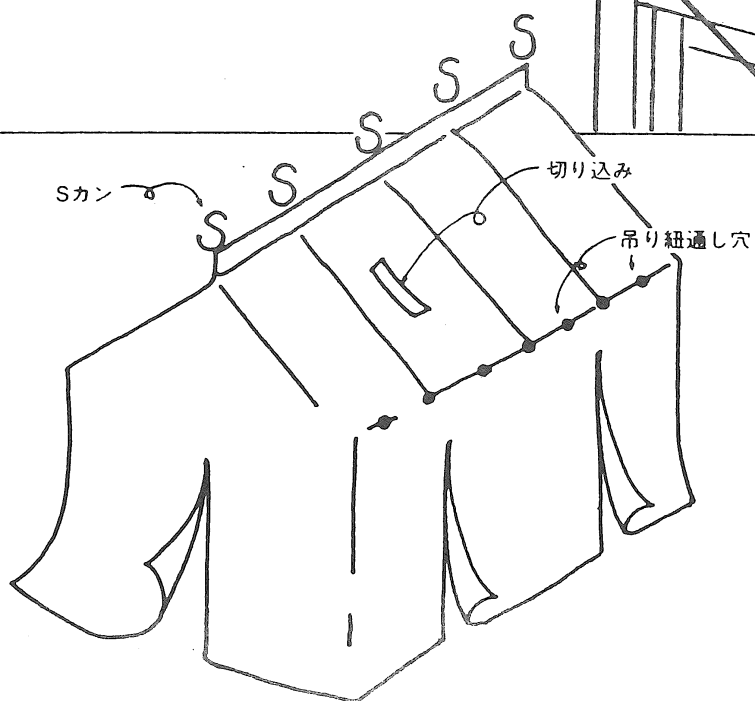
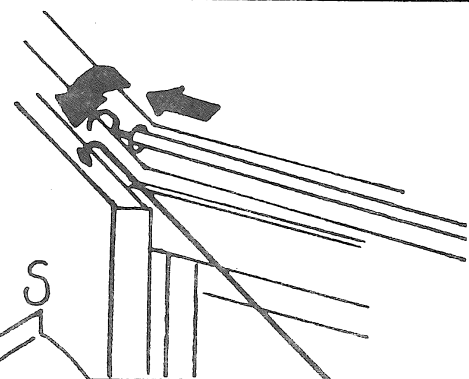
※天窓開閉装置は切り込みから室内側に入れて下さい。



※天窓を開けた時には、予備のマジックテープを使って、フタを天窓と反対側の屋根面に取り付けて下さい。

4 軒部の取り付け

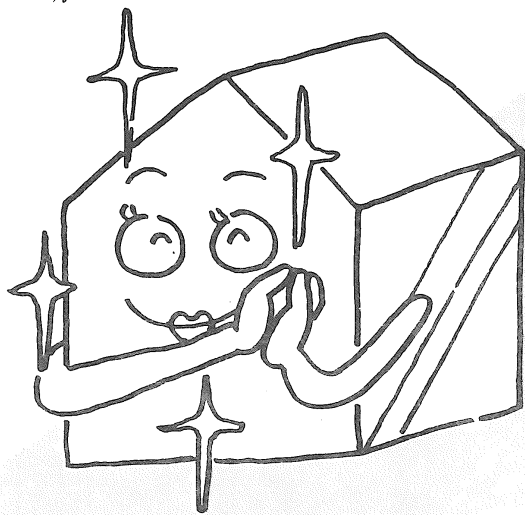
※保温カーテンの穴に吊り紐を通し、垂木のブレース取り付け用穴に吊り紐を引っ掛けて下さい。



- 寸法：W1,550×H2,250×D2,400
- 塩化ビニール 厚さ0.1mm
- 取付部品付

これで安心、ぴちカ15の気くばりメニ

☆いつまでも、
新妻みたいに美しい?!

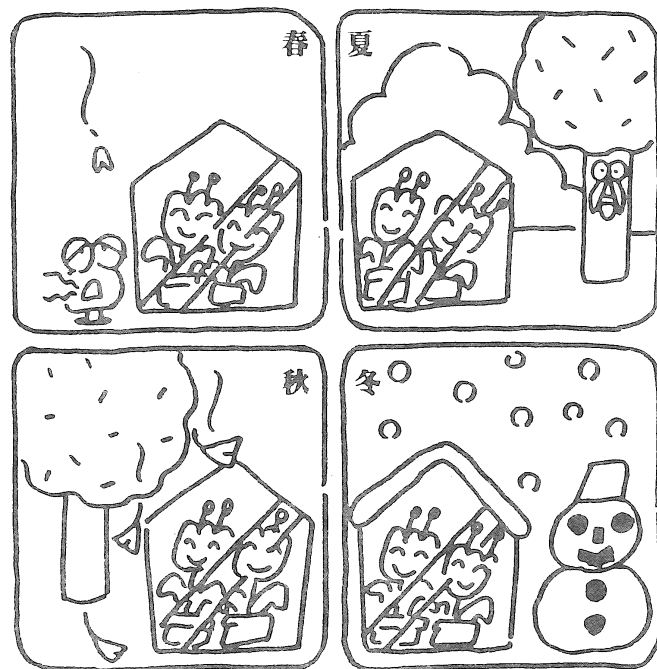


●構造材(アルミフレーム)は、耐食アルミ合金押出型材に耐食アルマイト処理をした上、ホワイト電着塗装したもので、サッシ窓と同じものです。いつまでも光沢のある美しさを保つことができます。

●取扱いには、キズをつけないように注意して下さい。汚れはぬれぞうきんできれいにふきとれますが、定期的に中性洗剤を使って水洗いして下さい。

●園芸棚は鉄製や木製の物が市販されていますが、腐ったりサビたりしますので、専用のアルミ製園芸棚をお勧めします。(棚板も鉄に樹脂コーティングしてありますので、サビ等の心配がありません。)

☆1年中、I Love植物!

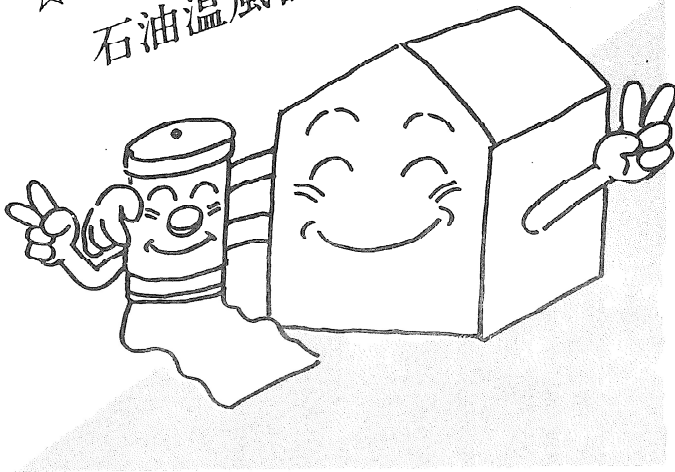


●設置は陽の当たる東側か南側が最適です。花や果物の栽培をより効率よくするためには、一般的に日中18℃～25℃、夜間12℃～15℃が最適温度ですから、季節に応じて温度管理を行って下さい。

春秋	特に気候の変化が激しい季節なので、日除け、保温カーテンを併用するようにして下さい。
夏	引戸障子を取りはずしたり、天窓を開けて通気性を良くし、直射日光を防ぐ日除けカーテン(遮光率60～65%)を取り付けるようにして下さい。
冬	温暖地、寒冷地によって違いますが、電気温風機、保温カーテンを併用して温度管理をするようにして下さい。(保温カーテンは保温効果が大きく、電気代の節約にもなります。)また、電気温風機の容量が足りない場合は、使用電気温風機の個数を増やして下さい。

※乾燥気味の時には、温水のスプレーで葉面散布して湿度を保って下さい。湿度は一般に60～70%が理想です。(晩秋から初春にかけては午前中に散布するようにして下さい。)

☆電気温風機と
石油温風器を準備しています！



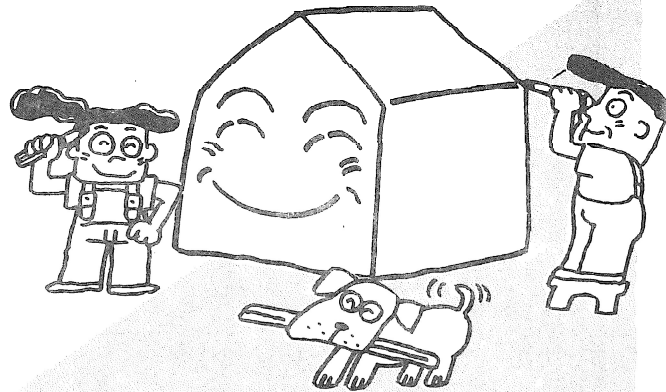
●暖房器は熱源に電気を利用するものと白灯油を用いる暖房器があります。プチカ15用の電気温風機(吊り下げ式)SF-2001 P型は単相・3相200Vのため、200Vの電源をとれないお宅は、石油温風機の利用をおすすめします。
ここでは、電気温風機のご紹介をしておきます。石油温風機利用詳細については、石油温風機そのものの梱包に説明書を挿入していますのでご了承下さい。

●暖房器は冬場だけの利用でなく、夏場でも利用できるサーキュレーター方式(ヒーターが止まり、ファンだけが回り風を送る)のものが便利です。「プチカ15」専用のSF2001P型(なお、サーモスタットは内蔵していませんので、サーモスタットST-15R型をセットで求めて下さい。)は、サーキュレーター方式に加え付属のダクトをセットして棟から吊り下げて使用すると、風が循環して温室内の上下温度差を解消し、暖房費が10~20%節約できます。(ダクトは下から30cm~50cm間をあけるようにして下さい。)また、棟(吊り鉢用金具)から吊り下げますので、設置スペースがいらず、温室内が有効に利用できます。

●電源コードの差し込み位置、容量のアップについては、電気店にご相談下さい。(屋外の配線は漏電等にご注意下さい。)

●5月頃から9月頃にかけては、暖房器は不要になります。不要時には、暖房器を取りはずし、清掃して片付けておくことをお勧めします。

☆私にも手伝わせて下さいナ？！



●「プチカ15」は、強化ガラスを組み込んだパネル式ですから、プラスドライバーとスパナ#10で誰にでも組み立てられます。組立時間をご夫婦で約3.5時間、ご家族で楽しみながら作業して下さい。

(天窓側が風下の方になるように設置して下さい。)

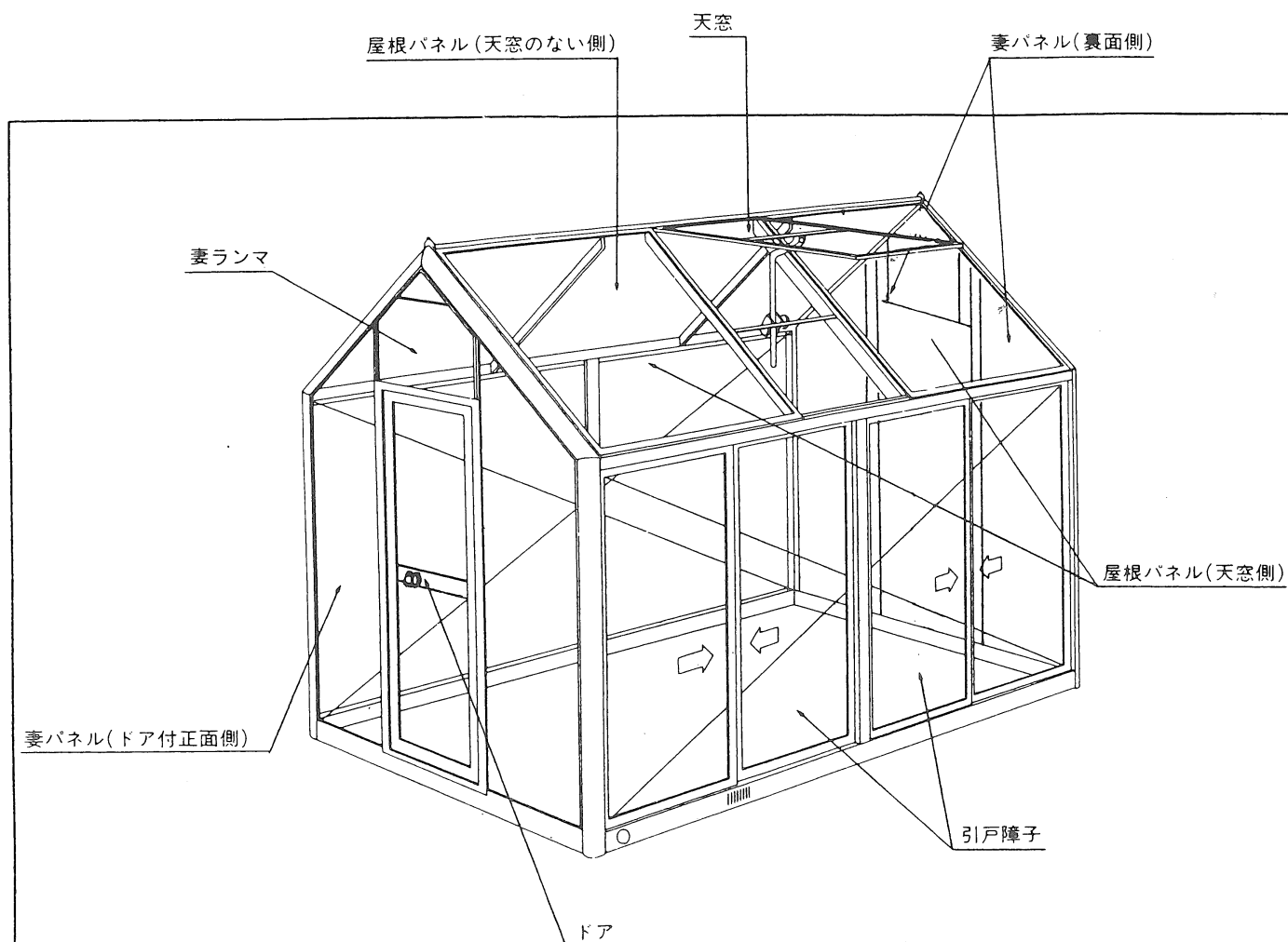
●面積に対し背が高い(約2300mm)ので、設置する時には必ずアンカーを打ち込んで下さい。地面が軟弱な場合はコンクリートで補強をして下さい。(土間や屋上に設置する場合は、ブロック基礎を敷いてお建て下さい。「プチカ15」の本体重量は207kgです。)

●強風時には必ず引戸障子、大窓を閉め、ワイヤーやロープで、棟木端カバーと壁等とをしっかりとつないで下さい。

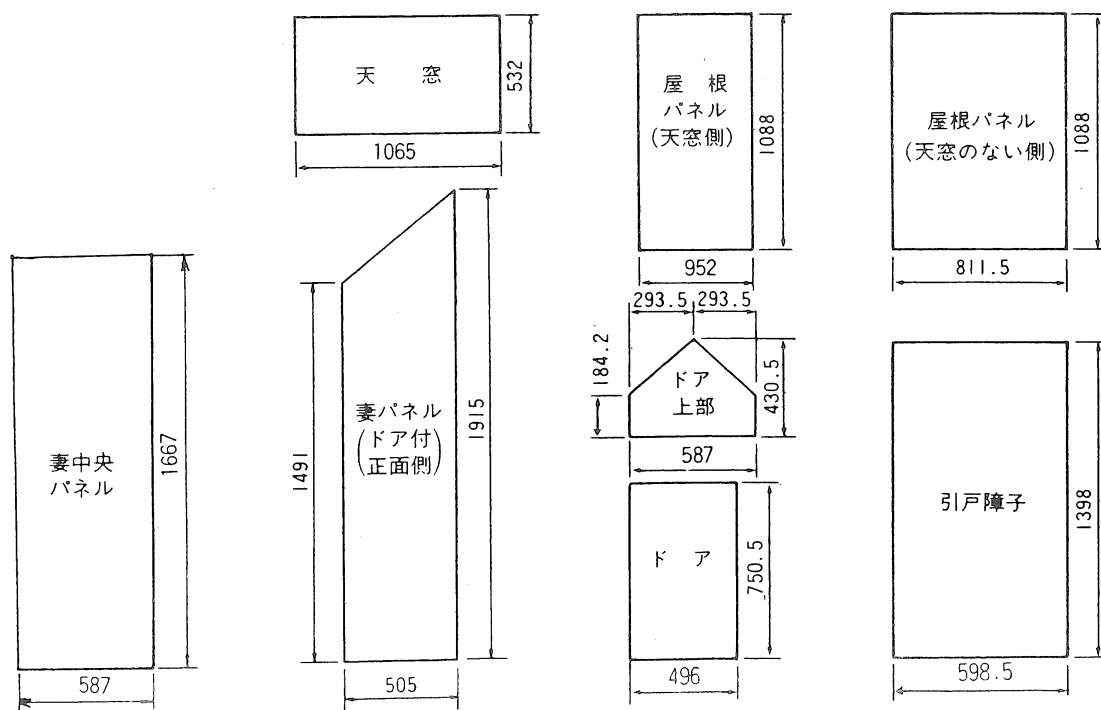
●ガラスは、普通ガラスより3倍の強度がある強化ガラスです。ご使用中、万が一破損した場合は、ガラス店の普通ガラスでもかまいませんが、お買い上げ店かメーカーに連絡して強化ガラスを注文するようにして下さい。

■アフターサービス

万が一故障したり、部品が破損、紛失した場合は、購入店に連絡して下さい。

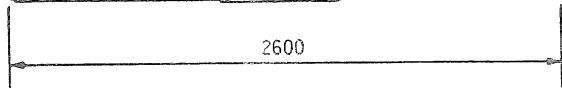


■ ガラス寸法図

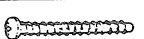
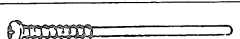




ブロック基礎
サッシ側



③⑥ 組立ネジセット明細表

名 称	形 状	寸 法	数 量
⊕ 皿 タ ッ ピ ン ネ ジ		Ø 5 × 16	4 本
⊕ ナ ベ タ ッ ピ ン ネ ジ		Ø 5 × 25	2 本
⊕ 皿 小 ネ ジ		M 5 × 20	2 本
⊕ ナ ベ タ ッ ピ ン ネ ジ		M 4 × 40	12本＋予備1本
⊕ ナ ベ タ ッ ピ ン ネ ジ		M 4 × 60	8 本＋予備1本
⊕ ナ ベ タ ッ ピ ン ネ ジ		M 4 × 10	58本＋予備2本
⊕ 丸 小 ネ ジ		M 6 × 10	37本＋予備1本
六 角 ナ ッ ト		M 6	15ヶ＋予備1ヶ
バ ネ 座 金		M 6	17ヶ＋予備1ヶ
穴 栓		Ø 9	8 ヶ＋予備1ヶ
⊕ 丸 小 ネ ジ		M 6 × 12	4 本
六 角 ナ ッ ト		M 6	4 ヶ

ピカ コーポレイション ●ホームページアドレス <https://www.pica-corp.jp>

本 社 〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル **0570-064065** (土日・祝祭日を除く 9:00～17:00まで)